死亡者認定票

地方世話部

課長	部長	業務課長	班長	課長	班長	係

調製年月日 昭和　年　月　日

調製官庁名 地方世話部

責任者印

[redacted]

項目	内容
所属部隊名 固有名	第三二航空通信□
通称號	威第五三二七部隊
本籍地	[redacted]
徴集年	昭□
役種	現役
兵種	通信
官等級 死亡前	一等兵
官等級 死亡後	兵長
氏名	[redacted]
年月日生	[redacted]
死亡年月日時	昭和二〇年四月一日　午　時
死亡場所	[illegible]
死亡区分	戦死（○）・戦病死・戦傷死
傷病名	[illegible]
留守担当者 現住所	[redacted] 郡市　町　村字 本籍地ニ同じ
続柄	父
氏名	[redacted]

認定資料及資料ノ入手経緯

右確認す

昭和二三年十二月十五日

[redacted]

※名簿所見	記載ス	保管セシ	抹消ス	抹消ヲ訂ス

※備考（年名簿）

3-1-13

死亡者事實(現認)證明書

一、本籍地 [redacted]

一、留守担當者現住所 [redacted]

一、同 續柄、氏名 妻 [redacted]

一、所属部隊 固有名 第二十四[illegible]行場[illegible]
通稱号 比島派遣[illegible]第二四五部隊 [redacted] 隊

一、徴集(任官)年月日 年、役種 役、兵種 兵

官等級 死亡前 死亡後 [illegible]士官 氏名 [redacted] 年 月 日生

右の者昭和二十年四月一日午前九時分
クラク[illegible]場後方 ピナラ[illegible]に於て 戦 に依り
死したることを證明(現認)す

一、病名

一、發病年月日

一、[illegible]

一、[illegible]

昭和二十年[illegible]月[illegible]日

所属部隊 第二十四[illegible]行場[illegible]隊

官等級 [illegible]長 [redacted]

氏名

上陸年月日、上陸地 昭和二十年十月十七日名古屋港

現住所 [redacted]

10-12

618

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）[illegible]

一、徵集年 [illegible] 役種 [illegible] 兵種 [illegible]

一、官等（死歿前）[illegible]（死歿後）

一、氏名 [redacted]

一、死歿場所 [illegible]

一、死亡區分並ニ事由 [illegible]

一、死歿年月日時間 昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日 [illegible]

一、死歿者本籍地留守擔當者 [redacted]

右確認（證明）ス

昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日 元所屬部隊名 [illegible]

現住所 [redacted]

元官等級 [illegible]

氏名 印

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先 [redacted]

地方世話部慰恤係

619

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted]

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 比島 派遣 振武集團 [redacted] 兵團 [redacted] 大隊本部 第 部隊 隊

三、戰死者徵集年 昭大 年「役種 予役」兵種 [illegible] 兵 死亡前官等級陸軍兵長 任官進級 年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月一日七時、ルソン島リサール州ボソボソ町北方八科合流点

五、戰死現認ノ程度 確實

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 昭和二〇年四月一日於、部隊主力、新込據点ボソボソ東南方山腹ニ稚林並掘ト迂路ヲ兼ネテ前進中ボソ〳〵北方ノ川ノ合流点ニ於テ砲弾ヲ受ケ戰死ス

八、死亡區分 戰死 事由 [illegible] 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 [illegible]

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年十二月八日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 [illegible]

所屬部隊名 比島派遣振武集團 [redacted] 兵團 [redacted] 大隊

兵種 官等級陸軍 軍医中尉

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年十二月二十九日

[redacted]

151-10

620

未発

カードヤリ

現認事實證明書

本籍地所属部隊 [redacted]

官氏名 [redacted] 一八四八五部隊 陸軍 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

一、役種、兵種、年次 現役送 [redacted] 勤務 第十五

一、死亡年月日時 昭和二十年 四月 [redacted] 一四〇〇 [redacted]

一、同 場所 中部ルソン島 クラトク地区 [redacted]

一、同 区分 戦死 甲

一、死亡事由又ハ病名及現認事由（発病年月日） 砲撃ニ依リ戦死（近接砲撃）（爆死）

一、遺骨の有無 無し 砲撃 甲

一、遺族現住所 續柄 氏名

右相違無キコトヲ證明ス

昭和二十二年 二月 [redacted] 日

現認者 本籍所属 [redacted] 階級氏名 中部第百三十部隊 陸軍上等兵 [redacted]

死亡者履歴	
年月日	記事
昭和20.4.2	戦死
昭和20.8.頃	沿海部隊より[illegible]
[illegible]	[illegible]

16-11

621

所屬	部隊
階級	兵役
氏名	生年月日
本籍	地
現住所	同上
年月日	昭和二十年
場所	比島
傷病名	
遺留品の狀況	

陸軍兵籍簿

死亡狀況

右確認

昭和二十二年三月十五日

[illegible]

埃宜縣[illegible]

死亡者との關係

住所

氏名 ㊞

[illegible]

S-11

622

[illegible]

[illegible]

[illegible] [redacted]

[illegible]

[illegible] [redacted] [illegible]

[illegible] [redacted] [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] [redacted]

[illegible]

[illegible]

[illegible] [redacted] [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] [redacted]

[redacted] [illegible]

6-3

戰爭死證明書

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 本人

氏名 [redacted]

[redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 比島 派遣 振武集團 [redacted] 團 [redacted] 大隊第三中隊

三、戰死者徵集年 昭大五年「役種 補充 役」「兵種 歩兵」死亡前官等級陸軍一等兵任官進級年月日 昭和十九年十二月一日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月二日午後十一時、ルソン島リサール洲（マニラ市東方約五〇粁ボソ〳〵ケ北方半地）

五、戰死現認ノ程度 推定

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

大隊ハ生存者約二〇〇トナリ「マニラ」東方ノ山岳ヘ後退シ行リラ的新込ヲ続行中、四月二日中隊長ト共ニ前陣地ニ夜襲ヲ敢行、壁壘ニ潜入手榴彈ヲ行ヒタルモ中隊長以下全死ス、ニ攻撃隊ニ参加シ殪ル

八、死亡區分 戰死 事由 全身手榴彈 發病年月日 昭和二十年四月二日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊戰務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

生存幹部ニヨル

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 妻

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年三月[redacted]

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 同部隊高級医官

所屬部隊名 比島派遣 振武集團 [redacted] 兵團 [redacted] 大隊

兵種 官等級陸軍 軍医中尉

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右ハ戸籍記載事項ト相違無ナコトヲ認ム

昭和二十二年四月 [redacted]

68-10

625

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted] 長男

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 [illegible] 派遣 [illegible] 第 [illegible] 部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徵集年 昭和六十四年「役種 [illegible] 役」兵種 歩兵 死亡前官等級陸軍 [illegible] 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月二日 [illegible]

五、戰死現認ノ程度 埋葬セリ

六、遺骨歸還ノ有無 ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 [illegible]

八、死亡區分 戰病死 事由 [illegible] 發病年月日 昭和二十年三月二十日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

[illegible]

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 [illegible] 氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セフレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年 十二月 一日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 [illegible]

所屬部隊名 [illegible] 隊

兵種 歩兵 官等級陸軍 [illegible] 氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右記載事項ハ事實ト相違ナキコトヲ認證ス

昭和二十一年十二月三十日

[redacted]

149-11

626

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted] 番

戸主名續柄 戸主

氏名 [redacted] 年 月 日生

二、所屬（固有部隊名 通稱部隊號） 比島派遣振武集團 [redacted] 兵團 [redacted] 大隊第三中隊 部隊

三、戰死者徵集年（昭和 年）、役種 補 役、兵種 歩兵、死亡前官等級陸軍 等兵 任官進級年月日 昭和十七年十二月二日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月二日午前十時頃 ルソン島リサール州ボソボソ町平地

五、戰死現認ノ程度 推定（死体ハ [redacted] 敵陣地ニ殘シアルヲ）

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 夜間、中隊長ト共ニ敵陣ニ突入シ再ビ帰ヘラズ、壯烈ナル戰死ト認ム

八、死亡區分 戰死 事由 全身手榴彈破片創 發病年月日 昭和二十年四月二日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺召ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted] 番

戰死者トノ續柄 主女

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年 二月十一日

一、證明者住所 [redacted]

一、戰死者トノ關係 同部隊高級官

所屬部隊名 比島派遣振武集團 [redacted] 兵團 [redacted] 大隊本部

兵種 官等級陸軍 軍医中尉

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右ノ通リ相違なき物ト認めらる

昭和二十年三月十四日

[redacted]

170-10

627

戰(病)死證明書

證明年月日 昭和 年 月 日

本籍地	[redacted]
所屬部隊	固有部隊 比島派遣振武集團 [redacted] 大隊
	通稱部隊 派遣第 部隊 隊
死亡本人	徵集年 昭十二年 役種 [redacted] 兵種 [redacted] 兵 死亡前官等級 陸軍 上等兵 氏名 [redacted] 年 月 日生
死亡年月日時刻	昭和二十年四月二十日 時 分
死亡區分	戰死
遺骨歸還の有無	無し
戰(病)死當時の狀況の概要	本人ハ中隊長ト共ニ四月二日夜連合軍ト銃陣地ニ夜襲ヲ行ヒ中隊長等ト共ニ玉碎ス
死亡場所	ルソン島リサール州ボソ〳〵ケ北方平地
非(傷病名)	不明ナル[illegible]部[illegible]通[illegible]創[illegible]
發病年月日(病死の場合)	昭和 年 月 日
留守擔當者	現住所 [redacted] 續柄 父 氏名 [redacted]
證明者	現住所 [redacted] 死亡者との關係 大隊附軍医官 官等級 陸軍 軍医中尉 氏名 [redacted]
	所屬部隊名 振武集團 [redacted] 兵團 [redacted] 大隊
市町村長の證明	右ノ通リ相違無きことを認承す [redacted]

185-11

628

死亡現認證明書

死亡					
所属部隊	比島成第一六六四部隊第二四対空無線隊	年齢	昭二〇、四、三	〇	一
本籍地	[redacted]	死亡区分	生死不明		
所属部隊	陸軍上等兵	死亡場所	ミンダナオ島デルモンテー		
氏名	[redacted]	傷病名			

死亡者			
所属部隊	ナシ		
現認	右ハミンダナオ島デルモンテ飛行場ニ於テ部隊作命ニ依リ[redacted]軍管ヲ長トシテ同地ニ於ケル[redacted]一従事[redacted]既定進攻作戦ニ参加中部隊ハ[redacted]分隊長以下一〇名ノミヲ残置シ師団作命ニ依リ前進中敵上陸部隊ニ進キウシ得ズ全員攻戦中ナル旨地部隊連絡兵ニ言ニ依リ知リタルモ其ノ後ノ消息不明ナルモ終戦後ノ各関係部隊ノ兵員ノ言ニ依レバ全員戦死シタル模様ナリ		
事由			
證明年月日	右ノ通リ證明する	昭和二十二年三月二十二	

記載上の注意

一、本證明書は三部作業すること
一、死亡者の所属は必ず死亡前を記載
一、傷病名の欄には戦死、時は受傷当所を戦病死の時は病名を記載し発病年月日
一、現認事由欄は詳細に記載すること
一、證明書、現認者氏名の處に必ず除何なる

現認者

所属部隊	本籍地	現住所	階級氏名
第二四対空無線隊	[redacted]	右同	陸軍軍長 [redacted]

41-11

029

現認證明書

一本籍

一氏名

（戸主）

年　月　日生

右之者比島セブ島に於て私と共に長らく在住同市に於て
尚来を営み居りし処日比戦等勃発と同時に軍属託に
命ぜ永勤務中の処我軍利なら事遂に同市北方四粁ガクロベ
山中に移転し其の陣地に於ける激戦の際昭和二十年四月三日午
後二時頃遂に戦死せし事を現認致します。

本籍

昭和二十二年五月十五日

陸軍

234-12

630

死亡事實證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊 固有名 戒第四七四八部隊（通稱號）工兵第八旅隊

徵集年 （本官事） 昭一七

役種 二國

兵種 工兵

死亡前官等 同発令年月日 昭和十九年十二月十日 一等兵

氏名（生年月日） [redacted]

留守 現住所 [redacted]

担当者 續柄氏名 母 [redacted]

死亡年月日 昭和二十年四月三日

死亡場所 比島ルソン島 マニラ地区

死亡区分 戦病死

死亡事由 傷病名 栄養失調

死亡後の階級 進級の要否

死亡状況

昭和二十年三月十日 マニラ戦戦病院ロ入院 同年四月三日死亡

右の通り相違なき事を證明する

昭和三三年七月三三日

本籍地 [redacted]

現住所 同上

所屬部隊 戒第四七四八部隊

階級氏名印 上等兵 [redacted]

48-12

631

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主氏名續柄、戸主 [redacted]

氏名 [redacted]

二、所屬 [redacted] 派遣 [redacted] 部隊 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

三、戰死者徵集年 [redacted] 年 役種 [redacted] 兵種 [redacted] 官等級陸軍 [redacted] 昭和十九年十一月一日

四、戰死ノ場所及年月日時刻 [redacted]

五、戰死現認ノ程度 推定

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 [redacted]

八、死亡區分 [redacted]

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊義務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定ヲ、又ハ不明等記入）

申立書ナレバ上陸年月日及上陸地

發病年月日 昭和 年 月 日

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 [redacted]

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二一年 九 月 八 日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 [redacted]

所屬部隊名兵種 [redacted]

官等級陸軍 [redacted]

氏名 [redacted]

市町村長證明箇所

右證明ス

昭和二十一年十月十四日

[redacted]

7-11

632

現認證明書

[redacted]地方世話部

死亡者

所屬部隊	本籍地	徴集	死亡年月日時	死亡區分	留守宅住所氏名
萩一七六〇一	[redacted]	昭2	昭和20年4月~~15~~4日15時分	戰死	[redacted]

役種	兵種	死階 前級	死階 後級	氏名
補	歩兵	一等兵		[redacted]

死亡場所	死亡事由	續柄
セブ島セブ市西北方十料 英彦山	頭部貫通銃創	妻

死亡當時の狀況	死者の係 死殁と關
セブ島にて戰斗中の為行動中英彦山にて頭部貫通銃創にて戰死す	戰友

右現認證明致します

昭和22年3月29日

現認者

本籍	現住所	所屬部隊	官等氏名
[redacted]	仝右	萩一七六〇一	陸軍上等兵 [redacted]

大川納

51-10

633

事實證明書

所屬	固有名	
	通稱	濠北派遣鯉第五十七九部隊
	本籍	[redacted]
徴集（任官）年、役科、兵種、死亡時官等級氏名、生年月日	昭和十七年	現役野戰兵
		[redacted] 年 月 日生
留守擔當官	現住所	[redacted]
	續柄	父
	氏名	[redacted]
死亡	年月日時	昭和二十年四月四日
	死亡事由	榮養失調症ニテ戰病死
	場所	ルソン島 バギオ附近
	傷病名	
	區分	戰病死
	遺骨	十二
	遺留品	
證人の死亡事知の理由		南方第十二陸軍病院バギオ山中分院ニ入院中戰病死
	證人の後資の經緯	南方第十二陸軍病院ニ應召中ノ父昭和二十年八月二日復員

右證明ナリ

昭和二十二年十一月二十一日

現住所 [redacted]

所屬部隊 南方第十二陸軍病院

官等 陸軍衛生大尉 氏名 [redacted]

16-12

634

現認證明書

本籍地 [redacted]

所属部隊 [redacted] 部隊

一死亡年月日時 昭和二十年四月四日 一五時 分

階級 [redacted] 氏名 [redacted]

一死亡場所 [illegible]

一死亡区分 戦死

一傷（病）名

一死亡當時狀況 [illegible]

右現認又

昭和二十二年三月十二日

現認者 元所属部隊 [redacted] 部隊

現住所 [redacted]

階級 [redacted] 氏名 [redacted]

32-12

635

所屬部隊 固有名

徴役兵 [illegible]

本籍地 [redacted]

留守擔當者 住所續柄氏名 妻 [redacted]

死亡年月日 [illegible] 確度 甲

死亡場所 [illegible] 確度 甲

死亡區分 [illegible] 確度 甲

死亡事由 [illegible] 生理

[illegible] 有し

由 理に至つ[illegible]

現(確)認する
昭和二二年十二月十八日
旧[illegible]部隊
旧官等級
死亡者の関係
現住所
氏名及捺印

[redacted]

[redacted]

636

松尾

死亡現（確）認書

所属部隊	国有名 [redacted]
徴集年	昭14
種	平
種	歩
本籍地	[redacted]
留守擔當者住所	本籍地に同じ
續柄氏名	父 [redacted]
死亡年月日	昭[illegible]
死亡場所	[illegible]
死亡區分	戦 死
死亡事由（傷病名）	生 埋
遺骨遺留品	有 し
確度	甲
確度	甲
確度	甲
現（確）認	対に至つた理由

通稱號

死亡前 兵長

死亡後

氏名 [redacted]

右現（確）認する

昭和二二年十二月十八日

旧所属部隊

旧官等級

死亡者との関係

現住所

氏名及捺印

[redacted]

19.6.8.

[redacted]

637

死亡者確認證明書

一、死亡者所屬部隊名 固有名 [illegible]
通稱號 [illegible]

一、徵集年（任官年）役種現役兵種並現昭和十六年徵集

一、死亡者本籍地 [redacted]

一、官等級（發令年月日）死亡前職業等 [illegible]（發令年月日昭 ）死亡後職業

一、氏名 [illegible]年月日 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日 [illegible]

一、死亡年月日時刻死亡區分 昭和二十年四月[illegible]日午前一時 分 戰死

一、死亡場所 比島ルソン島ルンバン

一、死亡事由（戰傷病死亡症り[illegible]病名及び受傷 [illegible]年月日及び前後の狀況）頭部に彈丸命中戰死

一、遺骨遺留品の狀況 [redacted] 少尉奉持せしが其所不明

右確認證明す

元所屬部隊名 比島派遣[illegible]第一九七四二部隊

現住所 [redacted]

元官等級氏名 陸軍兵長 [redacted]

初員年月日上陸地 昭和二十一年十二月二十二日 [illegible]

6-11

638

死亡確認書

所属部隊
部隊号
独立歩兵第一一大隊
...四

官等級
(准士官以下ハ兵種等ヲ記入)
大隊...
[redacted]

氏名
(ナカ シ ブ)
(工作師団)
[redacted]

本籍地
[redacted]

留守担当者
[redacted]
現住所
[redacted]

続柄
妻
[redacted]

死亡状況
戦死
年月日 昭20.4.5
場所 ... コゴン
死亡事由 小銃創
傷病名

遺骨遺品状況

右確認す
昭和二十三年二月二十二日
旧所属部隊 独立歩兵第十一大隊
旧官等級 [redacted]
右 [redacted]

右原本ト相違ナキコトヲ証明ス
[redacted]
[redacted]
(印)
地方上海課長

8.12

證明書

本籍地 [redacted]

所属部隊（通稱號） 船舶工兵第三十二聯隊（暁一九七七四部隊）

昭和十二年徴集予備役軍曹 [redacted]

若之者 昭和二十年四月五日 ルソン島ボリヽ平地 附近ノ戦闘ニ於テ戦死シタルコトヲ證明ス

昭和二十二年十一月二日

調製官 陸軍少尉 [redacted]

(甲)

24-10

死亡現認証明書

項目	記入
死亡者所属部隊名	独立混成第五八旅団独歩第五四六大隊
同通称名	満洲第[illegible]部隊
徴集年・役種・兵種	徴集年 昭和一二 / 役種 歩兵 / 兵種 補
官等	死亡当時 上等兵 / 死亡後 兵長 / 発令年月日 [illegible]
氏名	[redacted]
死亡区分	戦死 / 備考 [illegible]
死亡場所	フィリピン ルソン島 マウンテン州 バギオ / 確度 [illegible]
死亡年月日時間	昭和二十年四月五日十一時 / 確度 月日 時間
死亡事由 傷病名	マニラ島バギオ北四〇K陸軍病院ニ入院中四月五日午前九時頃敵機ノ空爆ニ依リ胸部爆弾破片創 同日午前十一時戦死ス [redacted]
死亡者本籍地	[redacted]
留守担当者	父 [redacted]
証明年月日	昭和二二年三月十九日
証明者 元所属部隊	元独立混成第五八旅団独歩第五四六大隊
元官等	陸軍上等兵
住所	[redacted]
氏名	[redacted]

67-111

現認證明書

[redacted]生部世話課

死亡者

所屬部隊 [redacted]

本籍地 [redacted]

徴集 大二五

役種 一補

兵種 [illegible]

死亡階級 一等兵

死亡階級 [illegible]

氏名 [redacted]

死亡年月日時 昭和二十年四月五日六時三十分

死亡場所 比島セブ島英彦山

死亡區分 [illegible]

死亡事由 迫撃砲彈[illegible]

留守宅住所 [redacted]

續柄氏名 [redacted]

死亡當時の状況

彼我の距離は凸地を境にして十五米位迄肉薄し手榴彈は背の後方に落ち各人の迫力は凄絶でした夕暮になり突撃ラッパとなりすぐ引返せしも迫撃砲彈の爲戰死なされました

夜更して所屬分隊にて死体收容埋葬せられた

死歿者との關係

戰死當時分隊は違へど今しの隊で半分位前迄同分隊なりし戰友

遺骨、遺留品の有無

無し

右現認證明致します

昭和二十一年十二月二十七日

現認者

本籍 [redacted]

現住所 [redacted]

所屬部隊 [illegible]

官等氏名 陸軍 一等兵 [redacted]

642

現認證明書

[redacted]地方世話

所属部隊	本籍地	徴集	役種	兵種	死階	死階	氏名
第一師団七一大隊独立一中隊	[redacted]	昭3	補充	歩兵	前級	後級	[redacted]

死亡年月日時	死亡區分	留守宅住所氏名	死亡場所	死亡事由	續柄
昭和20年4月5日	戦死	[redacted]	セブ島ノ英彦山中	爆死	妻

死亡當時の状況

昭和二十年四月五日セブ島英彦山の戦斗中迫撃砲弾に飛ばされて戦死した。

死殁者と關係

セブ島上陸以後の戦友

右現認證明致します

昭和22年4月9日

現認者			
本籍	現住所	所属部隊	官等氏名
[redacted]	同右	第一師団七一大隊独立一中隊	陸軍上等兵 [redacted]

大川納

643

死亡現認證明書

一 本籍地 [redacted]

一 [redacted] 氏名 [redacted] 現住所 [redacted]

一 所屬部隊名（通稱號） 戰車第[illegible]聯隊第[illegible]中隊

一 死亡年月日 昭和二十年四月五日頃 [illegible]

一 死亡場所 [illegible]

一 死亡區分 戰死

一 死亡原因及その見 [illegible]

右の通相違ないことを現認する

昭和22年6月5日 [illegible]

一 現認者官等氏名印 [illegible]

644

死亡現認(確認)證明書

本籍地 [redacted]

所属部隊 [redacted]

[redacted] 階級(死亡前)陸軍 兵長 氏名 [redacted]

一死亡年月日 昭和20年4月5日 四時 十分頃

一死亡場所 比島ブラカン州イボ地 神州山

一死亡区分 戦死

一傷(病)名

一遺骨(品) 不明

一死亡當時状況

敵三方面ヨリ進入之ヲ一方面ヘ向ヒ轉進本人直陣三人戦死

右現認(確認)ス

昭和二十二年7月28日

現認者 確認者

現住所 [redacted]

所属部隊 [redacted]

階級 軍曹 氏名 [redacted]

(日本ノート柄)

63-10

645

死亡現認（確認）證明書

（裏面記載上の注意を見て書いて下さい。）

死亡者の資料

- 圍の有無：※
- 所屬部隊：固有 威 ／ 通稱
- 細部所屬：船舶廠
- 役種（現地應召）：軍屬
- 兵種：
- 官等級（前）（後）：※
- 氏名：[redacted] 年 月 日生
- 本籍地：[redacted] 都道府縣 [redacted]
- 留守擔當者住所：
- 留守擔當者氏名：續柄（義姉）[redacted]

死亡日時	死亡場所	傷病名	發病時	死亡區分	遺骸及び遺骨の處理	遺留品
昭和20年4月5日	マニラ市モンタルバン地区			戰死	遺髮	なし
※	※	※	※	※		

死亡當時の状況：

マニラ市モンタルバン地区露営地にて爆撃を受け破片頭部に命中即死せり

資料提供者

- 死亡と知つた方法：露営地にて同居す
- 本人との關係：主從關係
- 現住所：[redacted]
- 所屬部隊：船舶廠
- 官等級氏名：元軍屬 [redacted]

※（調製年月日）昭和20年7月2日

※（調製官署）[redacted] 世話課

昭和二十二年 9月 [illegible]日 [redacted] (第 810 號)

死亡者調査表

昭和二十二年 九月二十三日調製

[redacted] 地方世話部

調製者

部長	課長	科長	連帯者
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

所属部隊	固有名	通稱號	留守業務局所管課
	※独米一六七大	※據一〇六二五	比島部

徴集年	役種	兵種	官等級	死亡時の官等並に發令年月日	死亡後	氏名	生年月日
※昭16	※現	※歩		※一 19年9月1日	矢	※[redacted]	[redacted]

本籍地	留守現住所	擔當者	續柄氏名	死亡年月日時	死亡區分	死亡事由傷病名	死亡直前の職務	遺骨遺留品の狀況
※[redacted]	※[redacted]	※[redacted]	※[redacted]	※20年4月6日 8時0分 甲	※戦府北 甲	※マラリヤ	※陸機関銃手	※ナシ

死亡所	發病(受傷)年月日	死亡者名票記載	死亡者原簿番號	公報番號
※比島ミンダナオ島タバオサ ラプイ村落 甲	※20年3月15日			

資料入手の經緯及所見

※右ハ據一〇六二五部隊第三中隊ニたりテ討伐勤ムニ起ル 中乗性マラリヤノ大腸炎ヲ併發中隊陣地構築中 就床一旬ニテ戦病死ス

右現認す

現認者		
現住所	所屬部隊	官等
※[redacted]	※據一〇六二五部隊第三中隊	※曽長

官等	氏名印
[redacted]	[redacted]

判	決	官詮等級議	未歸還届
			(有) 第九〇一號
			無

◎本表中※印の欄以外は世話部にて記入すること

◎記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり（記載上の注意をよく讀んでから記入の事）

647

戦歿者認定（證明）書

[redacted] 民生部世話部 [redacted]

一 死歿者所屬部隊名（通稱號） 海拔基一八大

一 徴集年 昭九 役種 予備役 兵種 半兵

一 官等級（死歿前） 陸軍伍長 （死歿後）

一 氏名 [redacted] [redacted]年 [redacted]月 [redacted]日生

一 死亡場所 リザール州マニラ方様兵（兵神台）

一 死亡區分並ニ事由 戦死 （爆死）

一 死亡年月日時間 昭和 20年 4月 7日 時

一 死歿者本籍地留守担当者 [redacted] 父 [redacted]

右確認ス

昭和二十二年 四月十五日

元所屬部隊名 海拔基一八六

現住所 [redacted]

元官等級 陸軍上等兵

氏名印 [redacted]

22-11

648

現認證明書

一、本籍地 [redacted]

一、所属部隊 海上輸送第丁大隊（[illegible]第一六七四九部隊）

一、官等級氏名 陸軍軍曹 [redacted]

一、死亡場所 比島ルソン島イサベラ洲アンガタナン、メイボー

一、死亡日時 昭和二〇、四、七、午后二時、分

一、死亡已分 戦疲死（コラリア）

一、留守担当者 佐所氏名 本籍地ニ同ジ（妻） [redacted]

右現認ス

現住所 [redacted]

元 海上輸送第丁大隊（[illegible]第一六七四九部隊）

元 軍属（船長） [redacted] 印

[redacted] 地方世話部

1-10

1230

部長	課長	科長	連帶者

死亡者調査表

昭和二十二年 3 月 24 日調製

地方世話部

調製者

整理番號	
所屬部隊	固有名
	通稱號
	留守業務局所管課
徵集年	役種 ※ 14
	兵種 ※
	官等級
	死亡時の官等並に發令年月日 ※
	死亡後
	氏名 ソリガナ 生年月日 ※
本籍地	[redacted]
留守擔當者	現住所 ※
	續柄氏名 ※
死亡年月日時	※ 20年4月7日10時0分
	死亡場所 ※
死亡區分	※ 戦死
	死亡事由傷病名 ※
死亡直前の職務	※
	遺骨遺留品の狀況 ※
	發病(受傷)年月日 ※ 年月日

資料入手の經緯及所見

※ [illegible]

右現認す

現認者		
官等	所屬部隊	現住所
※	※	※
氏名印		

判決	
官詮	
等級	
未歸還届	
有	無
第	號

死亡者名票記載

死亡者原簿番號

公報番號

◎本表中※印の欄以外は世話部にて記入すること

◎記載上の注意並に履歷欄は裏面にあり（記載上の注意をよく讀んでから記入の事）

30~10

650

戰死證明書

一、戰死者本籍地　戸主名續柄　戸主　氏名　年　月　日生

二、所屬　固有部隊名　員稱部隊號　派遣　第　部隊　隊

三、戰死者徵集年　昭和八年「役種」「兵種」「兵」死亡前官等級陸軍　任官進級　年月日　昭和　年　月　日

四、戰死年月日時刻及場所　昭和二十年一月七日　マニラ南方テレサ東方十粁ノ山中

五、戰死現認ノ程度　現認

六、遺骨歸還ノ有無　ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要　友軍ノ陣地附近ノ電話線ヲ敵ノ火煙砲ニテ戰死ス

八、死亡區分　戰死　事由　火傷　發病年月日　昭和　年　月　日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者晃書ニ依リ申立ヲ、部隊職務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所　戰死者トノ續柄　氏名　伯父

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年　月　日

證明者住所　戰死者トノ關係　所屬部隊名　兵種　官等級陸軍　氏名　印

市町村長證明箇所　戰友

右ノ通リ相違無キヲ證明スル

昭和二十二年二月一日

131-10

159

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted]

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 [redacted] 派遣 [redacted] 第 [redacted] 部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徵集年 昭和九年「役種 [redacted] 役」兵種 [redacted] 兵「死亡前官等級陸軍 [redacted] 任官進級 年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 [redacted]

五、戰死現認ノ程度 [redacted]

六、遺骨歸還ノ有無 [redacted]

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 [redacted]

八、死亡區分 [redacted] 事由 [redacted] 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ部隊庶務整理班幹部等ニテ整理スルカ、整理後定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted] 番

戰死者トノ續柄 [redacted]

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 [redacted]

所屬部隊名 [redacted]

兵種 [redacted] 官等級陸軍 [redacted]

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所 [redacted]

159-11

652

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主

氏名 [redacted]

年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 [illegible]

[illegible] 派遣 [illegible] 部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徵集年 昭七年「役種 役」「兵種 兵」死亡前官等級陸軍上等 任官進級年月日 昭和二十年二月一日

四、戰死年月日時刻及墓所 昭和二十年四月七日十九時 [illegible]

五、戰死現認ノ程度 [illegible]

六、遺骨歸還ノ有無 [illegible]

七、戰死當時ノ狀況 概要 [illegible]

八、死亡區分 [illegible] 發病年月日 昭和二〇年四月七日

九、其ノ他 (上陸地ニ於テ死亡者ニ於テ申立ヲ、司令部等ニ於テ整理スルカ、整理豫定ヲ、又ハ不明等記入) 申立済ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者ト續柄 [illegible]

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十年 月 日

戰死者住所 [redacted]

戰死者ト關係

所屬部隊名 [illegible]

兵種 [illegible]

[illegible]

氏名 [redacted] 印

177-1

653

17 ○○

死亡現認証明書

項目		記載
死亡者所属部隊名	固有名	威九一五一部隊 [redacted] 隊
	通称號	飛六六戦隊
徴集年役種兵種	徴集年	十八年
	役種	飛行兵
官等	死亡前	陸軍上等兵
	死亡時	陸軍兵長（発令年月日ハ 死亡ノ日付ニ）
氏名		[redacted]
死亡区分		戦死
	経度	甲
	死亡場所	仮泊地 イムガン
	緯度	中
死亡年月日時間		昭和二十年四月八日　時
死亡事由傷病名		大腿部貫通銃創出血多量ノ為
死亡者本籍地留守擔當者		[redacted]

右現認ス

昭和二十年四月二六日

元所属部隊名 威九一五一部隊 [redacted]

現住所 [redacted]

元官等 陸軍曹長 [redacted]

氏名印 [redacted]

17-13

654

現認事實證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊 威四七三八部隊 [redacted]隊

官氏名 陸軍死亡前 死亡後 上等兵 [redacted]

年 月 日生

一、役種、兵種、年次 第一補充

一、死亡年月日時 昭和二十年四月八日

一、同 場所 バタンガス州マレポン工山

一、同 區分 戰死

一、死亡事由又ハ病名及現認事由（發病年月日等） 砲 [illegible] 破片創

一、遺骨の有無 無

一、遺族現住所 續柄、氏名

右相違無キコトヲ明ス

昭和廿二年 八月 二六日

現認者 本籍 [redacted]

所屬 威四七三八部隊 [redacted]隊

階級一名 陸軍兵長

129-10

655

状況不明者の資料

本籍地 [redacted]

所属部隊固有名 第一〇三師團輜重隊

通称名 戚第一〇六〇七部隊

上等兵 [redacted]

昭和十八年六月一日マニラ港に上陸其の後北部ルソン島ンガヲ附近に於て昭和二十年一月十日マラリヤ発生昭和二十年四月八日午後三時頃戦病死す

死体は行軍の上其の場に埋る

[redacted]

戚第一〇六〇七部隊

上等兵 [redacted]

73 -10

[redacted]地方世話部死亡者認定票

昭和二十一年　月　日調製

本人						
所属部隊	固有名	搜索第十聯隊本部	通稱號	台湾鉄第四五五四〇部隊[redacted]隊		
本籍地	[redacted]					
徴收年	昭和十四	役種	現役	兵種	兵技	官等級
死亡年月日	昭和二十年四月八日	死亡前	帯長	死亡後		
死亡區分	戰傷死	死亡場所	ルソン島アリタオ兵站病院	傷病名	左腹部盲[illegible]銃創	
氏名	[redacted]					
年	[redacted]					
月	[redacted]					
日生	[redacted]					

留守担當者		
現住所	[redacted]	
續柄	繼母	
氏名	[redacted]	

認定[redacted]及[redacted]證	判決
右の通り戰傷死を現認し相違ないことを證明します 昭和二十二年一月二十四日 本籍地 所属部隊台湾鉄第五五四〇部隊[redacted]隊 陸軍兵長 [redacted] 右の通り相違ないことを證明します 昭和二十二年一月二十四日	官詮等級議

名簿所見				停年名簿頁	点検印	
記載ス					認定	
保管ス					進級	
抹消ス					告知	
抹消シアリ					記錄	

657

昭和二十二年五月三日

戰歿確認者

[redacted]

民生部世話課長殿

戰歿者確認の報告

戰歿							
所屬部隊	固有名	第四航空本部(所通)	通稱號	比島派遣威第九九四二部隊			
本籍地	[redacted]						
徵集年	役種	兵種	官等級	氏名	生年月日		
昭一七	現役	飛行兵	上等兵	[redacted]			
戰歿年月日	昭和二十年四月九日	戰歿場所	比島ネグロス島ミサイ東方				
戰歿區分	戰死						

戰歿

陸軍上等兵[redacted]は昭和二十年四月九日比島ネグロス島ミサイ東方地の敵兵站部を爆砕する任務を以て斬隊本部附[redacted]准尉以下四十名を以て編成したる必死隊(斬込隊)に殺を志願の上参加せり。時に戰果大ひに擧げたるも一名の生還者もなく其の後の狀況不明なるに付本部隊[redacted]

14-15

658

戰歿確認者				留守[illegible]者			
確認者承[illegible]	確認者官等級	確認[illegible]所屬部隊名	戰歿確認者氏名	續[illegible]	現住所	本[illegible]	本[illegible]
[illegible]	陸軍伍長	北島派遣第九九四二部隊第四中隊	[illegible]	父	氏名	本籍地ニ同	[illegible]

659

死亡現認書

威一八九二六部隊
元陸軍一等兵
[redacted]

右之者昭和二十年四月九日ルソン島ニ於テ戦死セルコトヲ現認ス

昭和二十二年三月十七日

威一八九二六部隊
[redacted]
元陸軍伍長
[redacted]

18-12

現認證明書

[redacted] 北方世話部

死亡者

所屬部隊	比島派遣戚第一七六〇二部隊
本籍地	[redacted]
徴集	昭和
役種	補充兵
兵種	兵
死亡前級	一等兵
死亡後級	
氏名	[redacted]
死亡年月日時	昭和貳拾年四月九日拾時 口分
死亡場所	ヒリッピン セブ島 ガガルハ
死亡区分	戦死
死亡事由	砲彈破片創
留守宅住民名	[redacted]
続柄	妻

死亡時ノ状況

昭和二十年三月二十五日第軍セブ島ニ上陸スルヤ[redacted]ハガガルヲ地区ニ於テ小野寺地区ニ於テ第七中隊トシテ交戦四月九日中隊長ノ命ニヨリ停止作業ノ任ニ服シ九日十二時頃敵勢遂行歸隊途中敵ニ発見サレ盛ナル砲撃ヲ受ケ其ノ一彈ハ[redacted]差右後方二米突ノ地点ニテ炸烈雨肩部左大股部左股部ニ破片創ヲ受ケ出血多量ノ為十七時頃死亡ス

死亡者ノ戦況

昭和十九年末ヨリ二十年三月末敵上陸時点陣地構築作業班長ニ目下ガ服シテ居ル勞時ノ場合班員デシタ戦死勞時同中隊

右現認證明致シ申す

昭和二十二年二月十八日

現認者

本籍	[redacted]
現住所	〃
所屬部隊	比島派遣戚第一七六〇二部隊
官等氏名	陸軍獣醫務軍曹 [redacted]

31-11

661

死亡現認證明書

和　年　月　日

死亡所属部隊	固有名	第十四軍野戰兵器廠	死亡場所 比島呂宋島マニラ地区
	通稱號	威第一〇六八部隊	
本籍地		[redacted]	死亡年月日 昭和二十年四月九日十時
死亡前の階級		陸軍衛生上等兵	死亡区分 爆撃ニ依ル戰死
氏名		[redacted]	受傷箇所 頭部爆弾破片創
遺骨遺留品		遺骨遺留品ナシ	病名 發病年月日

現認事由

右者昭和二十年四月九日午前十時頃、上官ノ命ニ依リ衛生業務ニ從事中敵機ノ空爆ニ依リ約十米余リ前方ニ爆弾[illegible]ヲシ其ノ際頭部ニ破片創ヲ受ケ戰死セリ

記載上の注意

一、現認事由は当時の情況を詳載に記入する
一、本証明書は三部作製する
一、階級は必ず死亡前を記載する
一、死亡区分戰死の時は受傷箇所を戰病死のときは病名、發病年月日を記載する
一、死亡場所、死亡区分、死亡年月日の確度正確な時は甲概ね確実なるときは乙疑がはしきものは丙とその下に記載する

證明者

元所属部隊	第十四軍野戰兵器廠	
本籍地	[redacted]	
現住所	同右	
階級氏名	陸軍衛生軍曹 [redacted]	

氏名の下に必ず捺印する

34-10

662

765

課長	係長	認定	本籍	部隊	公報	遺骨

昭和二十二年　月　日 [redacted]（第　號）

[redacted]民生部第一世話課

整理番第

死亡者調査表

昭和二十二年　試年六月　指驅課

調製者

所屬部隊　固有名 ※ 第十四方面軍工兵隊第三中隊　通稱號 ※

留守業務局所管課

徴集年 ※ 昭 9

役種 ※ 予　兵種 ※ 工兵

官等級 ※ 死亡時の官等級並に年齢 ※ 上

死亡機 伍

氏名 ※ フリガナ [redacted]

生年月日 [redacted]年　月　日生

本籍地 ※ [redacted]

留守現住所 ※ 同右

擔當者 續柄氏名 ※ 妻 ※ [redacted]

死亡年月日時 ※ 20年4月9日 08時0分 甲　死亡場所 ※ 比島ルソン島サバンガン

死亡區分 ※ 戦病死 甲　死亡事由傷病名 ※ 古病東マラヤ三日熱　發病（受傷）年月日 ※ 20年3月21日 甲

死亡直前の職務 ※

遺骨遺留品の狀況 ※ 行

資料入手の經緯及所見

※ バギオ出発部隊転進間マラヤ発病せるも引續き行軍を續行ーサバンガンに於て遺骨は当時分隊長であった [redacted] 軍曹付参するも以後不明

右現認す

現認者

現住所 ※ [redacted]

所屬部隊 ※ 第十四方面軍工兵隊第三中隊

官等 ※ 軍曹　氏名印 [redacted] 甲

死亡者名票記載

遺骨受付番號

公報番號

判決

官銓等級議

未歸還屆

有　第　號

無

◎本表中※印の欄以外は第一世話課にて記入すること

◎記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり（記載上の注意をよく讀んでから記入の事）

◎不備事項中判明しあるものは各班にて未書すること

79-10

663

戰時死亡者現認證明書

所屬部隊	戦11.8.07 部隊
	対ニ航空通信所隊(同)
死亡 年月日時	昭20.4.10.
場所	マニラ東方約 20粁ノ「イポ」陸地
區分	戦死
事由	敵機爆撃ニ依ル爆弾破片ニテ死ス
遺骨(遺留品)	シナ
徴集年	大、昭
役種	現役
兵種	野砲
官等級	陸軍一等兵
死亡前(發令日)年月	(1.3.20 昭)
死亡後	陸軍二等兵
氏名	[redacted]
生年月日	[redacted]年[redacted]月[redacted]日生
本籍地	[redacted]
留守擔當者現住所	(續柄)父 氏 [redacted] 名
現住所	右ニ同ジ ( )

右現認す

昭和二二年一〇月二〇日

現住所 [redacted]

所屬部隊 比島派遣戦隊二八連部隊

官等級氏名 陸軍二等兵 [redacted]

上陸地名 [redacted]

上陸地支局に於て連絡濟や否や 連絡否

上陸月日 昭和二十年十二月三十日

[redacted] 印

調製上の注意

一、所屬部隊は通稱固有部隊名をも判明程度に記入のこと

二、死亡欄は出來得る限り詳細に特に事由、傷、病名、發病(受傷)入院年月日入院病院名及其の他參考資料等併せ記入のこと、記事多き場合は附箋添付記入のこと

三、遺骨(遺留品)欄は有無有る場合は何處にありや(現地、上陸地支局、留守宅等記入のこと)

四、認印を忘れぬこと

五、同一人に對し二部調製のこと

履歷 年月日	記事	年月日	記事	年月日	記事
昭一九.九.二五	入營、應召(入隊時の官等級)	自昭 至昭	勤務の概況	昭一九.九.二五	(入隊以後の進級階級) 陸軍二等兵
昭一九.一.二	門司 港出發			二.9.二.一	陸軍一等兵
昭一九.一.二	比島派遣戦隊			二.0.二.一	陸軍二等兵

45-15

664

現認證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊 第八九飛行場大隊

(適稱號) 翔一六五〇二部隊

徴集年聯 年役種 上等兵 [redacted]

右の者昭和二十年四月十日北部呂宋島山嶽州「ウグ山」附近の戦斗に於て戦死したる事を現認する

臨時独立歩兵 [redacted] 大隊第三中隊附

元陸軍曹長 [redacted]

9-11

現認証明書

本籍地 [redacted]

現住所 本籍地に同じ

所屬部隊 特設水上勤務第一四九中隊威第二九四四

官氏名 陸軍 死亡前 死亡後 兵長 [redacted]

一役種 兵種 年次 國・歩・昭・二 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日付

一死亡年月日時 昭・二〇・四・一〇

一死亡場所 北部ルソン・サンチャゴ

一死亡区分 戰死

一死亡事由又は病名発病日及 現認事由 頸部貫通

一遺骨の有無 ナシ

一遺族現住所 續柄氏名 本籍地に同じ 孫 [redacted]

右相違無きことを証明する

昭和二十二年一月二十六日 現住所 [redacted]

所屬部隊 特設水上勤務第一四九中隊

現認者 官等氏名 元 陸軍少尉 [redacted]

1-11

現認證明書

[redacted] 地方世話部

死亡者

所屬部隊	比島 威一四二〇九 海上挺身基地 第十二大隊
本籍地	[redacted]
徴集	昭和 [illegible]
役種	神光
兵種	岩兵
死階亡前級	兵長
死階亡後級	
氏名	[redacted]
死亡年月日時	昭和二十年四月十日 九時 分
死亡區分	戦 死（確度軍）
死亡事由	迫撃砲 破片創
留守宅住所氏名	[redacted]
續柄	父

死亡當時の狀況

前記日時グリプリプ敵陣地攻撃ニ人命ヲ捧ゲられんる[redacted]文隊に加はり[redacted]中隊の第二小隊一分隊として四月九日攻撃軍始習十日朝敵陣地を奪取せるも迫撃砲の集中火を浴び九時頃遂に腰部に破片創を負ひ壯烈なる戦死を遂げたるものなり

死者の係と關

高中村 [redacted] 中隊第二小隊長として戦争に参加せるものなり

右現認證明致します

昭和二十年 [illegible] 月二四日

現認者

本籍	[redacted]
現住所	九同
所屬部隊	威一四二〇九 海上挺身基地 第十二大隊
官等氏名	陸軍 曹長 [redacted]

大川納

2-12

667

現認（事實）證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊 固有名 [redacted]

徴集年 [redacted] 役種 [redacted] 兵種 [redacted]

官等級（昭和二十年三月一日發令）氏名 [redacted]

一、死亡年月日時分 昭和二十年四月十日十八時分

二、死亡區分及傷病名 [redacted]

三、死亡場所 [redacted]

四、死亡狀況 [redacted]

五、遺骨及遺留品の有無並に處置（狀況）[redacted]

六、死亡に關する書類の有無 [redacted]

右の通り相違ない事を證明する

昭和二十一年四月十六日 元所屬部隊（固有名）[redacted]

（通稱名）[redacted]

現住所 [redacted]

舊職官等氏名 [redacted]

一、死亡者本籍地 [redacted]

二、留守擔當者の住所續柄氏名 [redacted]

右の通り相違ないことを證明する

昭和二十一年四月二十一日 [redacted]

現認證明書

比島派遣旭第一二八部隊[redacted]隊

陸軍兵長（死時一等兵）[redacted]

右者昭和二十年四月十日比島ルソン島[redacted]ニ於テ

頭部貫通銃創ニ依リ戰死（[redacted]）セルコトヲ現

認ス

昭和二十年六月二十一日

現認者元旭第一二八部隊[redacted]隊陸軍大尉

現住所

氏名

[redacted]

12-10

現認證明書

民生部世話課

死亡者

所屬部隊 [redacted]

本籍地 [redacted]

徴集 [redacted]

役種 [redacted]

兵種 [redacted]

死階 [redacted]

死亡年月日時 昭和二〇年四月一〇日

死亡區分 戦病死

留守宅住所 [redacted]

死亡當時の状況 昭和二〇年三月上旬より、マラリヤに罹り、爾後病院で戦病死した。

死亡者と関係 戦友

遺骨、遺留品の有無 留也

現認者

本籍 [redacted]

現住所 [redacted]

所屬部隊 尚武一〇六八一

官等氏名 陸軍上等兵 [redacted]

右現認證明致します

昭和二二年10月28日

670

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）　咸第一〇六〇九部隊

一、徵集年　昭八年　役種　補　兵種　輜重

一、官等（死歿前）　上等兵　（死歿後）

一、氏名　[redacted]

一、死歿場所　比島ルソン島エサベラ州ボンく附近　[redacted]年　[redacted]月　[redacted]日生

一、死亡區分並ニ事由　頭部貫通銃創ニ依リ戰死ニ戰歿ニ依ル（2）

一、死歿年月日時間　昭和　[redacted]年　[redacted]月　初旬　時

一、死歿者本籍地留守擔當者　[redacted]　人ニ右　養父　[redacted]

右確認（證明）ス

昭和　[redacted]年　[redacted]月　[redacted]日

元所屬部隊名　咸第一〇六〇九部隊

現住所　[redacted]

元官等級　[redacted]

氏名印　[redacted]

註　死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクソシクオ知ラセ下サイ

宛先　[redacted]

話部[illegible]

671

死亡現認證明書

死亡者 所属部隊名	比島派遣兵一〇六〇八部隊 [redacted] 隊
官等級氏名	陸軍兵長 [redacted]
本籍地	[redacted]
死亡年月日	昭和二十年四月十日頃
死亡区分	戦死
死亡場所	比島ルソン島アラヤ市地方ノ部ノ附近
傷病名	
遺骨遺留品の状況	戦死地ニ埋葬ノ為遺骨ナシ
現認事由	敵ノ陣地ニ行動中ノ爆撃ノ為腹部ニ破片貫通シ三十分後戦死ス
證明年月日	右の通り證明する 昭和 年 月 日
現認者 所属部隊名	比島派遣兵一〇六〇八部隊 [redacted] 隊
官等級氏名	陸軍上等兵 [redacted] (上)
現住所	[redacted]

記載上の注意

本證明書は三部作製する。死亡者官等級は死亡當時の階級を記載し、死亡後進級の判明する時は其の階級をも記載する。現認事由は詳細に記載する。死亡区分は戦死、戦傷死、戦病死、事處死、公病死、未死、自殺、戦犯處刑死等がある。

昭和二十一年　月　日　[redacted]　公第　號

[redacted]地方世話部　死亡者調査認定票

昭和二十一年　月　日調製
留守業務課

所屬部隊名　固有名　独歩十一联　通稱名　泉五三一四

本籍地　[redacted]

徴集年　昭　役種　現　兵種　歩　官等級　死亡前　上　死亡後　伍長　氏名　[redacted]

死亡年月日時　昭20.4.10.2100　死亡場所　比島ルソン島鈴鹿峠

死亡區分　戦病死　傷病名　戦争榮養失調症（遺骨ナシ）

留守業務者　現住所　本籍地ニ同シ　續柄　妻　氏名　[redacted]

調査認定　右ノ通リ現認ス

[redacted]

資料及資料ノ入手經路　独立歩兵第十一联隊第二中隊　陸軍兵長　[redacted]　印

名簿所見　戦　抹消ノ　ス　ス　シ　停手名簿資

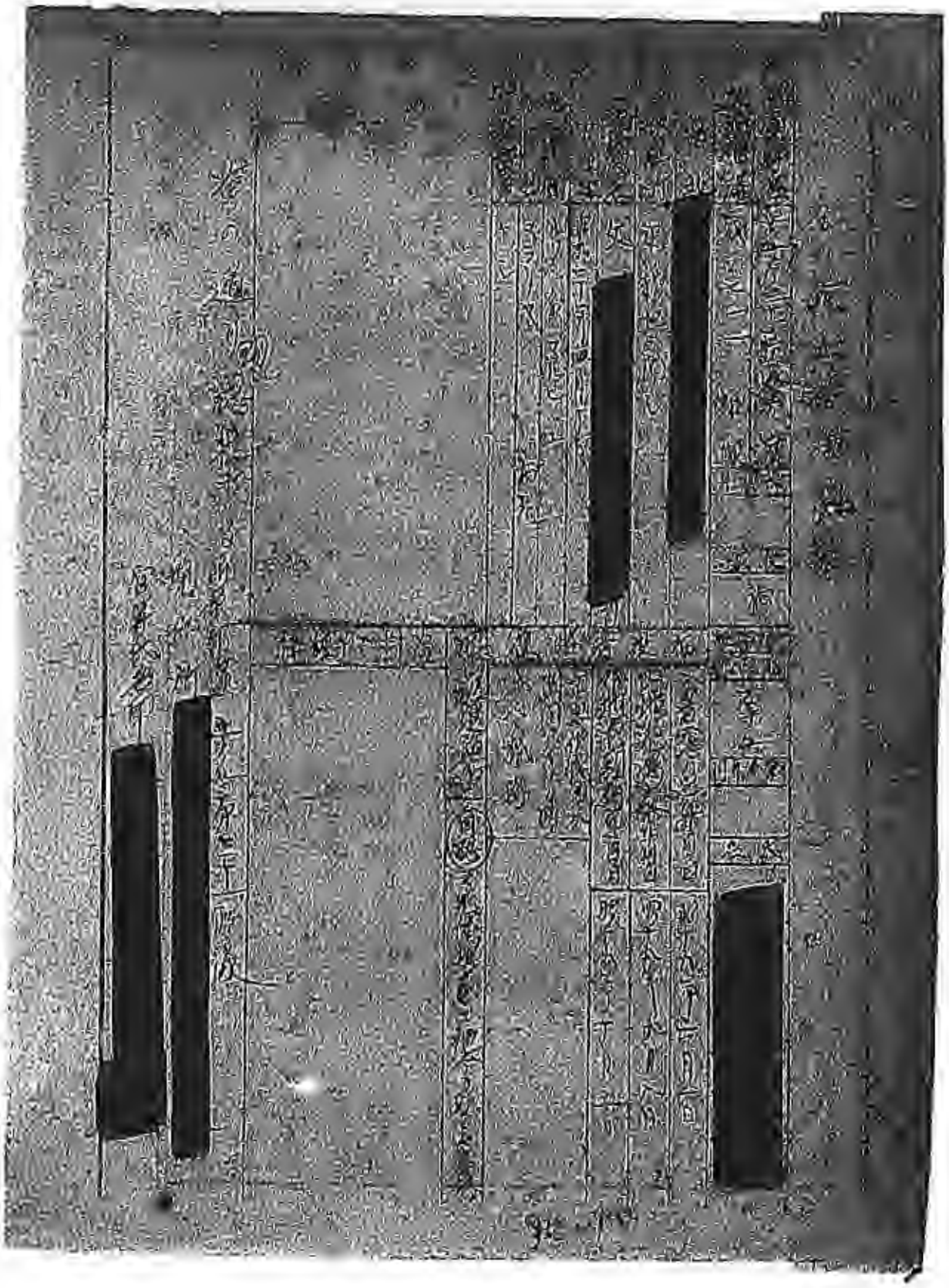
判決　戦病死

官等級儀　伍長ニ進級

点檢印　認定進級　告知　記録

161-(1)

673



戰死證明書

戰死者本籍地 [redacted]

戶主名續柄 戶主 [redacted]

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 第十師團 [illegible] 派遣 第五十四部隊 第十一中隊 [illegible]

三、戰死者徵集年 昭十年「役種」「國役」「兵種」「兵」「死亡前官等級陸軍曹長 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年 [illegible]

五、戰死現認ノ程度 同中隊 [illegible]

六、遺骨歸還ノ有無 [illegible]

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 [illegible]

八、死亡區分 戰死 事由 [illegible] 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

昭和二十年 [illegible] 月 [illegible] 日

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 妻

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 [illegible]

所屬部隊名 第十師團 [illegible] 兵種 [illegible] 官等級陸軍 [illegible]

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右は未だ復員していないことを證明す

昭和二十二年五月[illegible]日

[redacted]

675

12506

現認死亡證明書

所属部隊	自日
臨時歩兵第八大隊	臨時歩兵第八大隊
兵種	歩
官等級	一
最後進級	上
大隊	

死亡者

本籍地	[redacted]
現住所	右ニ同ジ
氏名	[redacted]
死亡年月日時	昭和二十年四月上旬日午前後時分
死亡区分	戦死
遺骨遺留品の有無	無シ
死亡時の状況及所見	[redacted]大隊、三月二十五日 恒歩第七大隊[redacted]隊に転属になり、任地に向ひ[redacted]として転進中、モンタルバン・ワワ・ダムに於て米軍の偵察機の発見する、ところとなり、次で迫害砲の集中射撃を受く、此の際、頸部に其の破片を受け、出血多量、何も射撃を受けし為にて治療を施す暇も無く是に戦死す
留守担当者續柄氏名	父 [redacted]
死亡場所	比島リサール州モンタルバン・ワワ
傷病名	頸部貫通
未帰還尾	有
昭和二十年四月上旬	

現認者

右現認ス。

昭和二十二年八月三十日

元所属部隊官等級 臨時歩兵第八大隊 陸軍少尉

現住所 [redacted]

氏名 [redacted] 印

3723

二二、十一、五

上 [illegible] 部 確 認 [illegible]

[illegible]

676

連絡濟

課長	戦歿者確認證明書	昭和20年[redacted]
係長	固有部隊名	マニラ航空廠
	死亡前階級	上ト兵
	死亡後階級	兵長
	通稱號	戦第一五三一部隊
	徴集年	役種
	兵種	兵
	氏名	[redacted]
	年	[redacted]
	日生	
主任	本籍地	[redacted]
	留守擔當者	
	現住所	
	續柄氏名	妻
	死亡月日區分場所事由	右の者昭和20年4月4日9時分ピナツボ山中に於て病死に依り戦病死せしことを確認す
	1.遺骨	ナシ
	2.遺留品	ナシ
	3.證據書類	ナシ
	名其の他	
	依頼	通知
	調	
	現住所	[redacted]
	製所屬部隊	比島派遣人第一五三二部隊
	者	軍隊に於ける[illegible]名印
		[redacted]

（課別）

第一世話 22.6.25 受附

4-12

677

死亡現認證明書

昭和　年　月　日

死亡者					
所属部隊	固有名	沙九対空無線	死亡場所	ルソン島	丑十アゲ
	通称号	成一八九五七部隊 [redacted] 隊	死亡年月日	昭和廿年四月十一日	午前四時
本籍地		[redacted]	死亡区分	戦病疫	
死亡前の階級		陸軍一等兵	受傷箇所		
氏名		[redacted]	病名	マラリア	
遺骨			発病年月日	昭和二十年一月二日発病	
遺留品		現地ニ埋葬			

現認事由

昭和貳拾(年一月二日よりルソン島北ナンフエルランドまでマラリアを発する
病染る時書同行軍を致し三月より五十ヶ日の行場に着き
少し無務に勤務致し居り又マラリアを発し部隊指揮班にて休養
中四月十一日午前四時遂に死亡せり
遺骨は現地に埋葬せり

記載上の注意

一現認事由は死亡当時の情況を詳細に記入する
一階級は必ず死亡前のこと
一確度(甲は正確、乙は概ね正確、丙は疑はしいもの)は必ず記入する
一氏名の下に捺印を必ず忘れぬこと
一故人との関係は中隊長、分隊長、戦友等の別を記入する

證明者

所属部隊	固有名	沙九対空無線	本籍地	[redacted]
	通称号	成一八九五七部隊 [redacted] 隊	現住所	右ト同ジ
階級及敵人俗		一等兵 同幸兵	氏名	[redacted]

12-13

死亡確認書

所屬部隊 固有 通稱 マニラ防衛隊

徴集年 役種 兵種 昭和十九年十月 予備役 歩兵

官等級 死前 陸軍 死後 陸軍

氏名 [redacted]

生年月日

本籍地 [redacted]

留守担當者 現住所 [redacted] 妻 [redacted]

死亡状況 年月日 昭和二十年四月十日 場所 比島 中部 ルソン バタン州 バランガ市 近郊 確度 甲 確度 甲 確度 甲 事由 米軍上陸部隊 トバランガ地 区ニテ戦闘 中敵弾ニテ戦死ス 傷病名 戦死

遺骨 遺留品 ノ状況 無シ

右確認す

昭和二十二年八月十四日

旧所屬部隊 威光 [illegible] 部隊

旧官等級 陸軍 [illegible]

記事 [illegible]

現住所 [illegible]

氏名 [redacted]

[redacted]

昭和六十年四月十二日比島ルソン一二四兵站病院

入院以後不明

[redacted]

第八十八兵站地区司令部

陸軍任長

[redacted]

72-11

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主氏名續柄 戸主 [redacted]

長男氏名 [redacted]

[redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 鳥取中部第四七部隊 十一中隊 [redacted] 十一航軍風部隊 北島派遣隊 第一五三一部隊 [redacted]

三、戰死者徵集年 大八年 役種一補役 兵種 歩兵 憲兵 憲兵 軍 十一兵 任憲兵 年月日 昭和十年三月一日 上等兵登級

四、戰死場所及年月日時刻 北島クラーク飛行場西端山奥昭和十年四月十二日午前九時半頃

五、戰死現認ノ程度 戰友ニシテ自分ヲ直接處置

六、遺骨皈還ノ有無 戰闘中ニシテ敵ノ最唯中ニ遺骨皈還ナシ

七、戰死當時ノ狀況概要 勇軍戰闘中ニシテ当一五三一部隊 [redacted] 全滅ニシテ二十年四月十一日朝 [redacted] 部隊解散明朝迄自分ト友道中敵ノ歩哨発見之 [redacted] 君ノ胸部ニ当リ出死

21.5.9

2-11

681

戦死亡正分戰死
戦戦他区分
死遺族現住所

事史銃剣

戦死者ト續柄 父

氏名

印

右ノ通リ戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年五月五日

證明者住所

戦死者ト關係

所屬部隊名兵種 比馬孤遺威第一五三一一部隊

官等級陸軍兵長

戦友

氏名

部隊

市町村長證明回所

右項一、二、三、十記載事項ハ相違無ナ事

ヲ證明ス

昭和二十一年五月

2-12

682

現認證明書

本籍地 [redacted]

現住所 右同じ

所屬部隊 第四航空軍独立第七機関砲隊

官氏名 陸軍 陸軍一ト兵（死亡前） [redacted]

死亡場所 ボソ〳〵神力山 四〇〇高地（マニラ東北二十六キロ）

死亡區分 爆死

死亡日時 昭和二十年四月十二日十時

死亡傷（病）名 胸部及頭部貫通

留守擔當者住所 現住所に同じ

續柄氏名 妻 [redacted]

右證明 する

昭和二十二年 月 日

現認者住所 [redacted]

元所屬官氏名 第四航空軍独立第七機関砲隊付

[redacted]

15-11

683

現認証明書

[redacted]

地方世話部

死亡者

項目	記載
所属部隊	威一〇六七三部隊三六七大隊
本籍地	[redacted]
徴集	昭和3
役種	補
兵種	歩兵
死亡前階級	一等兵
死亡後階級	
氏名	[redacted]
死亡年月日時	昭和20年4月12日 時 分
死亡場所	セブ市西義勇山
死亡区分	戦死
死亡事由	
留守宅住所氏名	[redacted]
続柄	兼

死亡当時の状況

比島セブ島セブ西義勇山ニテ昭和二十年四月十二日敵戦車ニ包囲セラレ義勇山山上ニテ戦死セラレタ

死亡者と現認者の関係

戦友

右現認証明致します

昭和24年2月20日

現認者

項目	記載
本籍	[redacted]
現住所	[redacted]
所属部隊	威七六三二部隊三六二大隊
官等氏名	陸軍上等兵 [redacted]

大川納

31-11

685

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）[illegible]

一、徵集年 昭六 役種 [illegible] 兵種 [illegible]

一、官等（死歿前）上等兵 （死歿後）[illegible]

一、氏名 [redacted] [redacted]年[redacted]月[redacted]日生

一、死歿場所 [illegible]

一、死亡區分並ニ事由 [illegible]

一、死歿年月日時間 昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日 [illegible]

一、死歿者本籍地留守擔當者 [redacted] [redacted]

右確認（證明）[illegible]

昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日

元所屬部隊 [illegible]

現住所 [redacted]

元官等級 [illegible]

氏名印 [redacted]

（註）死亡事由、場所ハナルベクシワシク時ニ終戰後ノ死亡ハ明瞭ニ、生死不明ニテ大名ノ者ハソノ前後ソクワシクオ知ラセドサイ

宛先 [redacted]

[redacted]地方世話部認定係

[redacted]

受	地	受	公	發
			報	

隨	
最終卒業（修業）學校名及び年月日	

686

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主

氏名 [redacted]

[redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 第三十師團第二十四聯隊第二中隊 比島派遣戒豹第一二〇二四部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徴集年 「昭十一年」「役種予備役」「兵種 歩兵」死亡前官等級陸軍上 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月十二日 ブキドーン 押シラエ

五、戰死現認ノ程度 確認

六、遺骨歸還ノ有無 無シ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 爆弾ノ直撃弾ニ

八、死亡區分 戰死 事由 爆創 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者発告ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立済ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 妻

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 二月二十四日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 戰友

所屬部隊名 戒豹第一二〇二四部隊 [redacted] 隊

兵種 歩兵 官等級 陸軍 軍曹

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右の通り相違なきことを認証します

[redacted]

176-10

189

戦時死亡現認証明書

調製年月日 昭和三二年一月十日

現認者住所
氏名 印 陸軍上等兵

区分	戦死
本籍地	[redacted]
役種徴収年	補充兵役 昭和七年徴集
官等級氏名	陸軍上等兵 [redacted]
生年月日	年 月 日生
留守担当者住所氏名	母 祖母 [redacted]
死亡 年月日時区分	昭和二十年四月十二日午前十時三分 戦死
死亡 場所	比島 ネグロス島 赤坂城前線
死亡 傷(病)名	胸部貫通銃創(即死)
内地帰還年月日	昭和 年 六月二十五日
戦地到着年月日	昭和 年 七月二十九日
勤務概要	自動車隊ニ所属シ警備及戦闘
受傷 年月日時	昭和二十年四月十二日 午前十時三十分
受傷 所	比島 ネグロス島 赤坂城前線
受傷 名	胸部貫通銃創(即死)
受傷状況	前赤坂城前線ニ於テ戦闘中敵ノ小銃弾(推定)ヨリ胸部貫通サル
戦死状況	右ニ依リ其ノ場ニ即死セリ
所属部隊名	歳第一七六三三部隊 [redacted] 隊(戦死時) 歳第一七六三三部隊 [redacted] 隊(戦死後)

31-12

寫

前略

[redacted]とは比島派遣以来同一部隊にて同一地区に於て勤務致して居りました昭和十九年十月末頃自分達は九州の福岡の芦屋から出発致し比島に到着した際マニラクラーク飛行場の転屋になる事十一月末迄同一隊で働いて累習士官になるべきことを私は居りました

其の頃は米軍もしきり島から比島に大陸するとの噂で部隊はどんどん

[redacted]兵團の方面（バギオ）に行つてしまいました自分達の隊は飛行場大隊なので一番後まで飛行場の残務を勤めました何しろ戦闘能力もなく本当に心細い次第でした其れから不ぐクラーク地区の山に入りそうして習年の二月頃とうとう米軍がやつて来ました戦闘能力も無く只山の中で食糧を持てどんどん後退して居た次第です

其れでも隊長が良い人でしたから皆仲良く助け合うて暮して居ました

がマラリヤ赤痢で倒れる者多く[illegible]

[redacted]は出来れば[illegible]

陸軍

64-11

689

寫

働いて居りました　二十年四月十二、三日頃だと思ひますが食糧運搬に行いてゐ
帰り餘り密集してはいけないので二組に別れて行動致しました　其の際
[redacted]と僕とは別になつたきりとう〳〵[redacted]の組は誰も帰つて来ませんでした
そうして居る中に自分も兵隊二人と共に隊長の命令で第一線に廻されました
八月遂に無條件降伏になりとう〳〵米軍の軍門に降つたのですそして
キャンプで隊長の組も[redacted]を探しましたが誰も探す事が出来ませんでした[redacted]
はあの時は大分元気なのでしたから病気で亡くなられたとか戦死されたとか
思ひ出しきもはつきり申し上げる事が出来ません　昨年五月帰りましたが　すぐ
千葉の留守業務局に行つて亡くなられた方の整理に当りましたが留守名簿
には[redacted]のは無いのですそれで生死不明の儘判明する迄その儘と致した
のです尚降伏後病気で亡くなられた方は此島で米軍の慰霊祭を受け
埋葬の結果死亡の便りは遺族の方にお通知して下さる事と存じます　今まで
全然便りが無いと思へば其の内の来る迄お待ち致した方が良いかと存じます

陸軍

64-12

690

現認事實 證明書

死亡者遺族に就いて

所屬部隊名	通稱號 三三二八
本籍地	[redacted]
遺族の住所	
續柄氏名	
徵集年	
役種	
兵種	
階級年月日	
死亡前	年月日
死亡後	年月日
氏名	[redacted] 年月日
死亡年月日時刻	昭和二十年四月十三日午前六時頃分
死亡場所	バナホ山南方

死亡區分 下記の處であではまる箇所に○印を附すこと

戰死 戰傷死 戰病死 其の他

死亡の原因又は病名 發病年月日及現認事由 死体の處置 其の他 參考事項

バナホ山南方に於て敵の砲彈により頭部に命中斃死 土葬にす 其後下山マルポン山に向ひ 尚本人はマラリヤにて重体なりき。

死亡者との關係 同僚

遺骨遺留品の有無及び無い場合の理由 攻撃を受けて屋り所一りなし 保管場所 /

右現認證明致します

昭和二十年十月十九日

現認者

現住所	[redacted]
所屬部隊	三三二八
官等氏名	[redacted]

7-13

691

死亡者現認證明書

昭和[redacted]年 民生部第一世所[redacted]月 日[redacted]

[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]

本人

所屬部隊	固有名 [illegible] 進稱號 [illegible]
本籍地	[redacted]
徵集年	役種 補 兵種 [illegible] 官等級 上等兵 死亡前 死亡後 氏名 フリカナ 生年月日 [redacted]
死亡年月日時	昭和二十年四月十[illegible]日午前午後十四時 分 死亡場所 [illegible]
死亡區分	戦死 死亡事由 傷病名 [illegible]
發病(受傷)年月日	昭和 年 月 日 遺骨、遺留品ノ有無 [illegible]

留守 遺族者

現住所	[redacted]
續柄	[illegible] 氏名 [redacted] 遺族承認ノ有無 [illegible]

現認者

所屬部隊	[illegible] 部隊 [redacted] 部隊
官等級	上等兵 氏名印 [redacted]
上陸年月日	昭和二十一年十一月二十一日 上陸地名 名古屋
現住所	[redacted]

[illegible]

692

死亡事實證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊固有名 [redacted]（通稱號）[redacted]

徴集年（任官年） 役種 兵種 死亡別官等同發令年月日 氏（年月日生）

昭和六年（二十年）現役 歩兵 戰病死 陸軍等兵 [redacted]（年[redacted]月[redacted]生）

留守 現住所 [redacted]

擔當者 續柄氏名 父 [redacted]

死亡年月日時 昭和二十年四月十三日

死亡場所 比島ミンダナオ島

死亡區分 野戰病院

死亡事由 マラリヤ 昭和二十年二月 發病

傷病名 マラリヤ 昭和二十年二月 入院

死亡後の階級の要否 上等兵

死亡状況 昭和二十年二月 マラリヤ發病 昭和二十年二月 入院 今年四月十三日 ミンダナオ島（地名不明）野戰病院ニ於テ 野戰病死ス

右の通り相違なき事を證明する

昭和二十二年三月三日

本籍地 [redacted]

現住所 今野 今郡 今村大家 今

元所屬部隊 豹第一二〇二四部隊 [redacted]部隊 [redacted]隊

階級氏名印 陸軍上等兵 [redacted]

3-10

693

669

昭和二十二年　月　日　[redacted]（第　號）

死亡者調査表

[redacted]

昭和二十二年　月　日調製

地方世話部

調製者

部長	課長	科長	連帶者

所屬部隊	固有名	通稱號	留守業務局所管課
	※	※	

徵集年	役種	兵種	官等級	死亡時の官等並に發令年月日	死亡後	氏名（フリガナ）生年月日
※	※	※		※	※	※

本籍地	留守擔當者	現住所	續柄氏名
※		※	※

死亡年月日時	死亡區分	死亡事由傷病名	死亡場所	發病（受傷）年月日
※ 20年4月13日14時20分	※	※	※	※ 年　月　日

死亡直前の職務	遺骨遺留品の狀況
※	※

資料入手の經緯及所見

※ イブラオ　イブラオ　以下戦斗中戦死

現認者	現住所	所屬部隊	官等	氏名印
右現認す	※	※	※	

判決	官詮等級議

死亡者名票記載	未歸還届
	有　無

死亡者原簿番號	公報番號
第604號	

◎本表中※印の欄以外は世話部にて記入すること

◎記載上の注意並に履歷欄は裏面にあり（記載上の注意をよく讀んでから記入の事）

9-10

694

昭和二十一

死亡者調査表

昭和二十三年二月十八日調製

調製者 [redacted]

民生部第二世話課

課長	係長	認定	本籍	部隊	公報	遺骨

整理番號

所屬部隊 固有名※ 鉄道第八聯隊 通稱號※ 威二四四部隊 留守業務局所管課 比島部

徴集年※ 昭13

役種※ 予備

兵種※ 鉄道

官等級

死亡時の官等並遺骨令※ 上等兵

死亡役 伍長

フリガナ 氏名※ [redacted]

生年月日 [redacted]

本籍地※ [redacted]

留守 現住所※ 右同

擔當者 續柄氏名※ 母※ [redacted]

死亡年月日時※ 20年4月13日 時分 乙

死亡場所※ ルソン島バレテ 乙

死亡區分※ 戰死 乙

死亡事由傷病名※ 不詳

遺骨遺留品の狀況 無之

死亡直前の職務※

資料入手の經緯及所見

※ ルソン島バレテに於て有力なる敵戰車と遭遇

交戰 20 4 13 戰死せるものと認む

右現認す

現認者 現住所※ [redacted]

所屬部隊※ 威二四四部隊

官等※ 陸軍太尉 氏名印 [redacted]

印

死亡者名票記載

遺骨受付番號

公報番號

判決

官銓等級議

未歸還屆 無

(有) か 第20號

◎本表中※印の欄以外は第一世話課にて記入すること

◎記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり(記載上の注意をよく讀んでから記入の事)

◎不備事項中判明しあるものは各班にて朱書すること

16-11

695

[redacted]第二七號

戦時死亡者現認證明書

所属部隊	陸軍	中隊
死亡	年月日時	20.4.13
	場所	比島 セブ島 天山
	區分	甲
	事由	大腸炎 マラリヤ 病死
遺骨	遺留品	有り
役種	兵種	二補 工兵
官等級	死亡前	一等兵
	死亡后	
代名		[redacted]年[redacted]月[redacted]日生
本籍地	留守担當者	[redacted]
	現住所	[redacted]
	代名	[redacted]

右現認ス

現住所 所属部隊 [redacted]

官等級代名 陸軍事長

上陸地名 [redacted]

上陸月日 三、一三、一八

調製上ノ注意

一 所属部隊ハ通稱直有部隊名ヲモ判明程度ニ記入ノコト

二 死亡欄ハ出来得ル限リ詳細ニ特ニ事由傷病名及上陸地支局ニ於テ陸格消ヤ否ヤ其他参考資料等併ヒ記入ノコト記事多キ場合ハ附表添付記入ノコト留守業務局ニ於テ手續消ノ場合其ノ月日記入ノコト

三 遺骨(遺留品)欄ハ「有無」有ル場合ハ何処ニアリヤ(現地上陸地支局留守宅等記入ノコト)

四 認印ヲ忘レヌコト

五 同一人ニ對シ二部調製ノコト

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted] 氏名 [redacted] 年 [redacted] 日 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 [illegible] 派遣 [illegible] 第 [illegible] 部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徵集年 昭和十七年 「役種 [illegible] 役」 兵種 歩兵 「死亡前官等級陸軍 [illegible] 任官進級 年 月 日 昭和 [illegible] 年 [illegible] 月 [illegible] 日

四、戰死年月日時刻及場所 [illegible]

五、戰死現認ノ程度 [illegible]

六、遺骨歸還ノ有無 [illegible]

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 [illegible]

八、死亡區分 戰傷死 事由 [illegible] 發病年月日 昭和 [illegible] 年 四月 [illegible] 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立 [illegible]

一〇、遺族ノ現住所 [redacted] 戰死者トノ續柄 [illegible] 氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 [illegible] 年 [illegible] 月 [illegible] 日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 [illegible]

所屬部隊名 [illegible]

兵種 [illegible] 官等級陸軍 [illegible] 氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所 [illegible] 昭和廿貳年 [illegible] 月廿日

[redacted]

141-14

697

宇

死亡現認證明書

所屬部隊名	盟兵団[redacted]部隊[redacted]隊
官等級氏名	死亡前上等兵[redacted]
本籍地	[redacted]
死亡年月日	昭和二十年四月十四日二十二時頃
死亡場所	戦死
死亡場所	頭部貫通銃創し
傷病名	ルソン島バドす附近ツルニダット
遺骨要留守の賦還	無し
現認事由	同人ハ慈召時より最後まで同一行動をし戦死を現認す
證明年月日	右ハ[illegible]證明する　昭和二十一年八月十一日
所屬部隊名	盟兵団[redacted]隊[redacted]隊
官等級氏名	[redacted]
住所	[redacted]
注意	本證明書は[illegible]

52-10

698

死亡確認申告書

昭和　年　月　日

所属部隊名	同右 通称号	一同 岩一二五二八（尖七部隊）…
死亡場所及死亡年月日	宮崎県…島 戦死	
死亡前ノ官等級	上等兵	
氏名	青森 [illegible] 一郎	
死亡者ノ本籍地又ハ現住所	青森市…	
遺骨遺品ノ有無	無	

比島派遣 威第一八四五六部隊 第一三七部隊 [redacted] 隊

階級 兵長

…附近

階級 少尉

[redacted]

ナシ

確認資料参考

一同、二十九年十一月十日満洲ヨリ呂宋島ヘ転進ノ途中…所在ノ…ニ於テ戦死…（呂宋島…）…三時二十五分死亡

昭和二十年四月十五日…

戦死（時刻 十四時三十分）

確認者 所属部隊 威第一八四五六部隊 …

同 見上 [redacted]

准尉 [redacted]

（業務…局）

死亡

所属部隊名（通称号）	比島飛行軍 威第一八四五六部隊 第一二三飛行大隊 [redacted]
死亡年月日	20. 4. 15
死亡場所	比島クラーク地区附近
官等級	准尉 少尉
氏名	[redacted]

参考資料欄

経歴 昭和十九年七月満洲ヨリ比島ニ[illegible]附近[illegible]
[illegible]航空戦[illegible]中部[illegible]
戦[illegible]昭和二十年五月[illegible]

昭和二十年四月十五日比島クラーク地区附近ニテ戦斗ノ際胸部貫通銃創ニテ戦死ス（時刻十二時三十分）

現認者 所属部隊 威第一八四五六部隊 准尉 [redacted]

同 現住所 [redacted]

○[illegible]記入[illegible]

8-47

死亡確認申告書

昭和二十一年　月　日

所属部隊名	固有名	独立工兵第二十一聯隊第二中隊	第一〇五飛行場大隊
	通称号	軍第二六二三部隊第二中隊	第一八四五部隊
死亡年月日		20.3.25	20.4.15
死亡場所及死亡区分		呂宋島バガンシナン高地戦ハルソン島戦病死 戦死、戦傷死、戦病死	比島ルソン クラーク地区ニテ 戦死
死没者官等級氏名	死亡前	上等兵	准尉
	死亡後	兵長	
	氏名	工兵 青森一郎	[redacted]
遺族本籍地及現住所		青森県西津軽郡…町…丁目十五番地　青森市栄町一三五番地	[redacted]
	氏名	妻 青森節子	[redacted]
遺骨遺品ノ有無		遺骨ナシ 遺留品ナシ	ナシ

確認資料

一例 二十年一月十日満洲ヨリ呂宋島ヘ転進ハンバシナン附近ノ戦斗中二十年三月二十五日午前十一時二十分敵ノ爆撃ニ依リ戦死ス（或ハ呂宋島附近ノ戦斗中胸部貫通銃創ヲ受ケ呂宋島野戦病院ニ収容セルモ二十年三月二十五日午前十一時二十分死亡セリ 分隊トシテ埋葬 ヨリ一或ハ目認スル）

二十年一月上旬敵ハ比島リンガエンニ上陸セルヲ以テクラーク現地バンバン飛行場ノ中隊ハ…山中ニ施設構築中…四月十四日敵ノ攻撃ニ会シ撤退…山附近ニ於テ敵機動部隊ト激戦中胸部貫通銃創ニ依リ戦死ス 時ニ昭和二十年四月十五日午后一時…ヨリ遺骸ハ埋葬セリ
右自認ス

以下当部同様

現認者　所属部隊　第一〇五飛行場大隊　官等級氏名　陸軍准尉 [redacted] 印

同　現住所 [redacted]

備考　六、確認欄ニハ記載シテ下サイ　尚確認資料ノ欄ハ出来ルダケ詳細ニ記載シ致シマス

V

9-13

死亡現認證明書

所属部隊名	二二野戦氣象隊
官等級氏名	死亡前上兵死亡後兵長
本籍地	[redacted]
死亡年月日	昭和二十年四月十五日
死亡区分	戦死
死亡場所	比島北部呂宋ビナンボ山
傷病名	
遺骨遺留品の状況	ナシ
現認事由	昭二〇ノ敵上陸ノタメクラーク飛行場ヨリビナツボ山ニ轉進 同年四月十五日敵機ノ爆雲ヨリ爆死ス [illegible] 昭和二十二年二月十七日
現認者	所属部隊名 二二野戦氣象隊
	官等級氏名 陸軍軍曹
	現住所 [redacted]

本籍地
部隊名
官等氏名

飛行第五十二戰隊

死亡年月日　昭和二十年四月十五日
死亡場所　比島　カワヤン州　カバツアン
死亡区分　戰病死
死亡理由　マラリヤノ為

右現認ス

現認者
本籍地
部隊名　飛行第五十二戰隊

55-11

703

戦友の[illegible] [redacted] [illegible]中佐殿
[illegible]部にも[illegible]致しましたが何しろ當時の事で
も[illegible]部隊も全[ちかうカナ]戦闘の戦斗状況も知る事
[illegible]バレテ峠の激戦に参加し居られた方を知らせ
[illegible]が居りましたをアリタウと言う所で道路の近くで病院の方
[illegible]に於いて居られましたが気の毒に思い野戦病院(アリタウ)を指
[illegible]へ私の戦友と二人で真夜中にかつがれて行ったのです
[illegible]では若しかかりやうく(には部隊名や師団名代名を言へば
[illegible]私を部隊名[illegible]居りましたが(旭)じゃなかったか
[illegible]翌日を病院へつれて行って居ますのですから其の後の事は分かり
[illegible]病院へつれて行ったのは確かで[illegible]中頃だったと思います
[illegible]部隊は全然(ちかうカナ)[illegible]の証拠がないので何とも[illegible]
[illegible]

[redacted]

戰時死亡者現認證明書

所屬部隊	死亡	年月日
		場所
		區
		事由
	徴集年	役種 兵種
	官等級	死亡年月日
	氏名	生年月日
	本籍	留守擔當者 現住所

[redacted]

右現認す

昭和二十二年 六月 日

現住所 [redacted]

所屬部隊

官等級氏名

上陸地名

上陸地支局に於て連絡濟や否や

上陸月日 [redacted]

調製上の注意

一、所屬部隊は通稱同有部隊名をも判明程度に記入のこと

二、死亡欄は出來得る限り詳細に特に事由、傷、病名、場病(受傷)入院年月日入院病院名及其の他參考資料等併せ記入のこと、記事多き場合は附箋添付記入のこと

三、遺骨(遺留品)欄は有無有る場合は何處にありや(現地、上陸地支局、留守宅等記入のこと)

四、認印を忘れぬこと

五、同一人に對し二部調製のこと

服務					
年月日	記事	年月日	記事	年月日	記事
昭	入管、[illegible]	昭	勤務の概況	昭	(入院[illegible]の進級階級)
昭	[illegible]				

705

戦時死亡者現認証明書

所属部隊

死亡　年月日時　場所　分隊　事由

特設　官等級　役種　兵種　大　昭

死亡(当時)　官等級　死亡前日　死亡日　任

氏名　[redacted]

生年月日　[redacted]

本籍

留守担当者現住所氏名（関係）[redacted]

右現認す

昭和三十二年　月　日

現住所　[redacted]

所属部隊

官等級氏名　[redacted]

上陸地名

上陸地支局に於て連絡済や否や

年月日　[redacted]

記載上の注意

一、所属部隊は通称固有部隊名とも判明限度に記入のこと

二、死亡欄は出来得る限り詳細に特に死因（傷、病名、状況）（記入）入院年月日入院病院名及共の他参考資料等併せ記入のこと、記事多き時は附箋を記入のこと

三、送付（送付済）欄は有無有る場合は何処にありや（現地、上陸地支局、留守宅等記入のこと）

四、認印を忘れぬこと

五、同一人に対し二部調製のこと

履歴			
年月日			
昭	入営・応召（部隊）		
昭			
昭	戦場の経歴		
昭			
昭	（入隊以後の戦歴経歴）		

706

戰時死亡者現認證明書

所屬部隊		[illegible]（通）
		[illegible]（因）
死亡	年月日時	昭和二十年[illegible]月[illegible]日
	場所	オクワ北島北
	區分	兵務
	事由	[illegible]
遺骨（遺留品）		手[illegible]
徵集年	役種	三年
	兵種	[illegible]
官等級	死亡前（發令）年月日	昭
	死亡後	死亡
氏名（フリカナ）	生年月日	[redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生
本籍地	留守[illegible]者現住所（續柄）	[redacted] 名
	本籍地	[redacted]
	現住所	[redacted]

右現認す

昭和二十年六月二十七日

現住所 [redacted]

所屬部隊 [illegible]

官等級氏名 [illegible]

上陸地名 [illegible]

上陸地支局に於て連絡濟や否や

上陸月日 [illegible]

調製上の注意

一、所屬部隊は通稱固有部隊名をも判明程度に記入のこと

二、死亡欄は出來得る限り詳細に特に事由、傷、病名、發病（受傷）入院年月日入院病院名及其の他參考資料等併せ記入のこと、記事多き場合は附箋添付記入のこと

三、遺骨（遺留品）欄は有無有る場合は何處にありや（現地、上陸地支局、留守宅等記入のこと）

四、認印を忘れぬこと

五、同一人に對し二部調製のこと

履歷						
年月日	記事	年月日	記事	年月日	記事	年月日	記事
昭 [illegible]	本籍、應召（入隊時の官等級）	自昭 [illegible] 至昭 [illegible]	勤務の概況 [illegible]	昭 [illegible]		（入隊以後の進級階級） [illegible]	
昭 [illegible]	門司 池出發	[illegible]	[illegible]			[illegible]	
昭 [illegible]	[illegible] 港上陸	[illegible]	[illegible]				

39-12

707

現認證明書

本籍地 [redacted]

現住所 [redacted]

所属部隊 第四航空軍独立第七機関砲隊

官氏名 陸軍少長 死亡前 [redacted]

死亡場所 オノ〳〵 マニラ東北二十四キロ

死亡区分 病死

死亡日時 昭和二十年四月十五日十八時三十分

死亡傷病名 マラリヤ

留守擔当者住所 現住所ニ同ジ

積柄氏名 妻 [redacted]

右證明する

昭和二十年 月 日 現認者住所 [redacted]

元所属官氏名第四航空軍独立第七機関砲隊 [redacted]

[redacted] 地方世話部

15-11

708

(原)

現認證明書

本籍地 [redacted]

現住所 右同ジ

所属部隊 第四航空軍独立第七機関砲隊

官氏名 陸軍 陸軍上等兵（死亡前） [redacted]

死亡場所 ボゾク（マニラ東北二十四キロ）

死亡区分 病死

死亡日時 昭和二十年四月十五日十八時

死亡傷（病）名 マラリヤ

留守扶養者住所 現住所ニ同ジ

續柄氏名 妻 [redacted]

右證明する

昭和二十二年 月 日 現認者住所 [redacted]

[redacted] 地方世話部

17-11

未歸還者資料票

昭和　年　月　日
厚生世話課

關係世話課

調整
世話課長印

資料提出者

現住所 [redacted]

歸還 經路 方向（改葬所）

月日 未歸還者との關係

所屬 固有名 船舶工兵第一野戰補充隊

所屬 通稱號 臆第六一四二部隊

官等 上等兵

氏名 [redacted]

本籍地 [redacted]

所屬 固有名 船舶工兵第一野戰補充隊

所屬 通稱號 臆第六一四二部隊

官等 兵長

氏名 [redacted]

未歸還者

最近の狀況

生存 所屬（所在）

死亡（生死不明）

區分 戰死

確度

年月日 事由 肉迫攻撃所とし敵戰車攻撃に參加

其他 場所（所在）セブ島カルメン附近

年月日時 昭20.4.中旬

其他

備考

昭和二十年四月中旬セブ島カルメン附近の戰斗に於て肉迫攻撃班として敵戰車攻撃に參加し戰死殊勲甲として二階級特進せり

死亡確認書

所属部隊 関係編	[illegible] 歩武第二九四四部隊
徴集年 役種 兵種	昭和十三年 第一補充 歩兵
官等級	生前 上等兵 / 死後 兵長
氏名	[redacted]
生年月日	[redacted] 日
本籍地	[redacted]
留守担当者 続柄	妻
留守担当者 氏名	[redacted]
留守担当者 現住所	[redacted]
死亡状況 年月日	昭和十九年四月十三日
死亡状況 区分	戦死
死亡状況 場所	北部ロンプロン高地
死亡状況 事由	戦斗中
死亡状況 傷病名	頭部貫通銃創
遺骨遺留品ノ状況	高地ロンプロン二子山 四月十三日 小隊長埋葬ス

右確認ス

昭和二十二年十二月十一日

旧所属部隊 歩武第二九四四部隊(㊞)

旧官等級 陸軍兵長

死亡者との関係 同隊小隊

現住所 [redacted]

氏名 [redacted] ㊞

3.13

死亡事實（病死）證明書

本籍地 [redacted]

現住所 本籍地ニ同ジ

所屬部隊 臨時砲兵第五中隊

徵集年 官等級 氏名 [redacted]

右ノ者昭和二十年四月十五日（時刻不明）モンタルハンニ於テ大腸炎ニ依リ戰傷病死シタルコトヲ證明（現認）ス

昭和二十二年四月四日

所屬部隊 職名 臨時砲兵第五中隊

官等級 上等兵

氏名 [redacted]

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス

一、職名ハ中・小隊長、砲手、操縱手等ト詳記ス

[redacted]

2-10

912

[illegible]明[illegible]

本籍地

仙兵長

通所屬部隊固有名

通猶号 威七二〇三

昭和二十年一月スロより開始せるフリンガエン湾正面の戰斗に參加重機関銃
機分隊長として戰斗指揮中同年四月十五日ルソン島サブラン附近に於て
敵迫撃砲彈の直撃を受け戰死せり尚遺骨は名古屋上陸地遺骨
安置所に保管しあり

威七二〇三

曹長

28-11

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）[illegible]

一、徵集年 [illegible] 予役種 [illegible]

一、官等（死歿前）[illegible]（死歿後）兵長

一、氏名 [redacted]

一、死歿場所 [illegible]

一、死亡區分竝ニ事由 [illegible]

一、死歿年月日時間 昭和二十年四月 [illegible]

一、死歿者本籍地留守擔當者 [redacted]

右確認（證明）ス

昭和二十二年四月三十日

元所屬部隊名 [illegible]

現住所 [redacted]

元官等級 [illegible]

氏名印 [redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先 [redacted]

地方世話部慰恤

死亡認定

714

死亡者調査表

昭和二十二年 七月 十 日調製

所属部隊

階級

[redacted]

本籍

[redacted]

氏名

死亡年月日

死亡場所

[redacted]

死亡前後の状況

[redacted]

[redacted]

死亡者名簿記載

通牒受付番号

公報番号

[redacted]

昭和　年　月　日　[redacted]　第　號

[redacted] 地方世話部
死亡者認定調査票

昭和二十一年　月　日調製　留守業務課

所屬部隊名　固有名
通稱名　威七〇二五

本籍地　[redacted]

役種　予
兵科　歩
官等級　上
前職
後任
氏名　[redacted]

死亡年月日時　昭20 4 15 18
死亡場所　比島ルソン島ハヤ丁西方十粁

死亡區分　戰死
傷病名　頭部貫通銃創

死亡作戰所　同本籍地

續柄　妻
氏名
住所　[redacted]

一　死体現地ニ埋葬ス
遺骨　無シ
為現認ス

[redacted]

威七〇二五部隊

陸軍兵長 [redacted] 印

點檢印

認定進級詳細記録

官階　部隊　級

3-10

916

死亡者調査表

戦時死亡者現認書

昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日

本籍地	[redacted]
所属部隊	固有名 [illegible]衛司令部機関砲二中隊 道猶呂 威王九九部隊
兵役	役種 第一補充兵役 徴集年 昭和16年 死亡時階級 陸軍兵長 死亡後階級 陸軍 氏名 [redacted] 生年月日 年 月 日生
留守担当者	現住所 續柄 父 氏名 [redacted]
死亡年月日	昭和20年4月15日16時 [illegible] 分
死亡場所	比島呂宋島リサール州モンタルバン東方三〇粁五〇五高地
死亡状況	發病(受傷)年月日 昭和20年4月15日 [illegible] 受傷部位 戦車砲弾頭部貫通 [illegible]部[illegible]管制
現認者	本籍地 現住所 [redacted] 所属部隊 [illegible] 右ニ同ジ [illegible]衛司令部第二機関砲中隊 [illegible]長 官等 陸軍 伍長 氏名 [redacted]

不明ノ箇所ハ不明ト記ス[illegible]度

[illegible]

9-10

718

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 本人

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 此島 派遣 振武隊 第 [redacted] 部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徵集年 昭六年 「役種」「補役」「兵種」 歩兵 「死亡前官等級陸軍」 任官進級 年 月 日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月十五日 マニラ南方ニレ丁東方一〇粁ノ山中

五、戰死現認ノ程度 戰死推定

六、遺骨、歸還ノ有無 ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

敵彈ヲ胸、右腕 數個所ヲ受ケ口ヨリ出血多ク

敵ガ宣圍サレ 戰死ノ止ムナキモノト思フ

八、死亡區分 事由 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者屬番ニ依リ申立カ、部隊陸務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 妻

氏 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 一月 日

證明者住所

戰死者トノ關係

所屬部隊名 [redacted]

兵種 官等級陸軍 歩兵 兵長

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

前書之通相違無之候也

[redacted]

69-10

219

死亡現認證明書

本籍地

所屬部隊（固有名）第六航空通信聯隊（通稱號）威才九九四二部隊

徵集年 十七年

役種 現役

兵種 航空

官等級 死亡前 死亡後 一等兵 兵長

氏名

生年月日 年 月 日生

留守擔當者住所

續柄

氏名

死亡			
年月日時及區分	場所	傷（病）名	年月日時
昭和二〇年四月一日時分戰死	比島 ネクロス島 ギンバロン	不明	昭和 年 月 日 時 分

6-12

720

傷（病）名	戰死（病死）の狀況	受傷（罹病）の狀況	內地港灣出發 戰地到著 年月日	勤務の概要
戰地喰員トシテ出發後未歸還			昭和十九年七月十日門司港出港 昭和十九年九月十日本邑之島着	

右の通り現認したことを證明す

昭和二二年五月五日

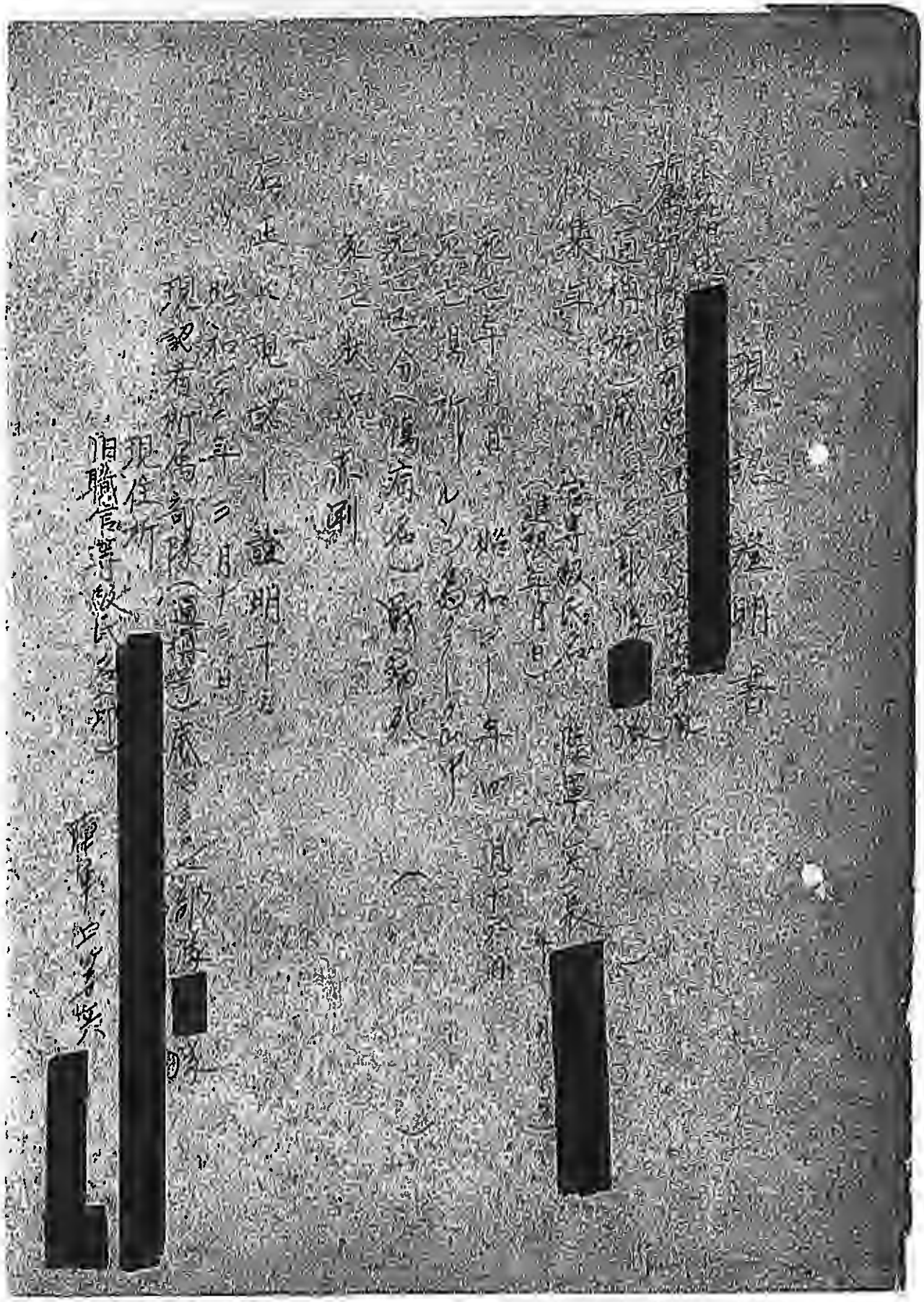
本籍地 [redacted]

所屬部隊 同九九四二部隊

官等級 陸軍中尉 氏名 [redacted]

6-13

721



寵記

比島派遣輝一六三〇〇部隊兼付進第九部隊[redacted]隊

陸軍歩兵一等兵

[redacted]年[redacted]月[redacted]日生

右者昭和十九年十一月十五日マニラ地区比島派遣威第一〇六一二部隊南方第十二陸軍病院ヘ入院シ同年十二月当病院ト共ニバギオ地区ニ移轉シ昭和廿年四月十六日当病院山手分院ニ於テ腎臓脚氣ニテ死亡ス

右雛認ス

昭和廿二年三月廿六日

モト比島派遣南方第十二陸軍病院看護婦

[redacted]

159-10

723

死亡現認證明書

昭和　年　月　日調製

死役者						
所属部隊	固有名	通稱號	拙歩三六三大	菅一七六〇八	死亡場所	比律賓 ホロ島 ツマンタンガスル
本籍地	[redacted]				死亡年月日	昭和20年4月16日 時
死亡前の階級	上等兵				死亡区分	戦死
氏名	[redacted]				受傷箇所	空爆のため
遺骨 遺留品	なし				病名 發病年月日	/

現認事由

右のとおり戦死したることを現認する

記載上の注意

一、現認事由は当時の情況を詳細に記入する
一、本證明書は三部作製する
一、階級は必ず死亡前を記載する
一、死亡区分戦死の時は受傷箇所を戦病死の時は病名発病年月日を記載する
一、死亡場所死亡年月日、死亡区分の確実正確なる時は甲 概ね確実なるときは乙、疑はしきものは丙とその下に記載する

證明者

元所属部隊	菅一七六〇八			
本籍地	[redacted]			
現住所				
階級氏名	上等兵	[redacted]		

氏名の下に必ず捺印する

110-10

724

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted] 長男

氏名 [redacted]

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 第二十師團歩兵七十四聯隊第一[redacted]年[redacted]月[redacted]日生

比島派遣豹第一二〇四部隊 [redacted]隊

三、戰死者徵集年「昭和十三年」「役種 予役」「兵種 歩兵」死亡前官等級陸軍 任官進級年月日 昭和二十年一月一日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月十六日 ミンダナオ島 コタバト州 カバカン野戰病院

五、戰死現認ノ程度 入院中 全身セゼ 推定

六、遺骨歸還ノ有無 ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 昭和二十年一月全身セゼ 発病前記病院ニ入院中 仝年四月十五日敵ノ上陸企図察知セラレ 仝月十六日患者全員後方後送セラレタルモ敵ノ進出急速ニシテ且当時本人ノ病症ヨク臆測スルニ戰死セルモノト推定ス

八、死亡區分 戰死 事由 不詳 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊陸務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立済ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 内凶妻

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 二月二十四日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 部下

所屬部隊名 比島派遣豹第二〇四部隊 [redacted]隊

兵種 歩兵 官等級 陸軍 曹長

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所 前記之通リ相違ナキコトヲ証明ス

[redacted]

71-10

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted]

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 比叡 派遣 [illegible] 第一三〇三 部隊 久 隊

三、戰死者徵集年「昭和十五年」「役種現役」「兵種砲兵」「死亡前官等級陸軍 曹長 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月十六日 サンマニエル 戰闘中

五、戰死現認ノ程度 確実ト本指定

六、遺骨歸還ノ有無 ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 サンマニエル戰闘中 銃車で戰死推定スル

八、死亡區分 戰死 事由 銃車為 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立済ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted] 番

戰死者トノ續柄 父

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 參月 一日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 前分隊長

所屬部隊名 兵種 砲兵 官等級 陸軍 兵長

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

[redacted]

145-10

726

事實死亡 證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊（通稱號） 独立飛行第四十五中隊（成第一八九七一部隊）

昭和十八年徴集 兵長 [redacted]

右之者昭和二十年四月十八日 比島セブ島セブ市ノ右 附近ノ戰鬪ニ於テ戰死シタルコトヲ證明ス

昭和二十一年十一月二十日

調製官 独立飛行第四十五中隊付 陸軍ニ曹 [redacted]

3-12

727

現認事實

證明書

死亡者遺族に就いて

所屬部隊名	通稱號 三三二八
本籍地	[redacted]
遺族の住所	[redacted]
徴集年	
役種	
兵種	
階級	年 月 日
死亡前	年 月 日
死亡後	年 月 日
氏名	[redacted] 年 月 日生
死亡年月日時刻	昭和二十年四月十八日午前 四時頃分
死亡場所	平地

固有名

[redacted]

[redacted]

[redacted]

死亡區分下記の處であてはまる箇所に○印を附すこと

戰死
戰傷死
戰病死
其の他

死亡の原因又は病名發病年月日及現認事由死体の處置其の他參考事項

バナホ山よりマルヒン山に行軍中敵の砲彈により四月十八日午後四時頃戰死直ちに土葬敵の攻撃甚しく遺留品何一つありませず遺言等もありません

死亡者との關係 同僚

遺骨遺留品の有無及び無い場合の理由 攻撃を受けて[illegible]

保管場所

右現認證明致します

昭和廿一年十月十九日

現認者

現住所	[redacted]
所屬部隊	[redacted]
官等氏名	陸軍 [illegible]

9-11

728

戦闘詳報 [redacted] 地方世話部

死亡者

所属部隊	本籍地	徴集	死亡年月日時	死亡區分	留守宅住所氏名
萩第一七六〇〇	[redacted]	役種 補充 兵種 砲兵 死階亡前級 一等兵 死階亡後級	昭和二〇年四月一八日一九時〇〇分	戦死(甲)	[redacted]

死亡場所	死亡事由	氏名
セブ島ピスト	腹部貫通銃創	[redacted]

死亡當時の狀況	死者と關係
一九、八、二八セブ島ニ上陸シ以来同一部隊陣地工事ニ從事中 二〇、四、一八敵戦車部隊ノ襲撃受ケ此レト交換戦中敵弾腹部ニ貫通戦死ス	補充要員トシテ入隊以来同一部隊ニ属シ同人ト起居ヲ共ニシオリ戦友トシテ過シ来リ二〇、五、四、浦賀ニ上陸復員ス

右現認證明致します

昭和二二年一月二二日

現認者			
本籍	現住所	所属部隊	官等氏名
[redacted]	[redacted]	萩一七六〇〇部隊	陸軍上等兵 [redacted]

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主

氏名 [redacted]

年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 比島 派遣 鉄 第 [illegible] 部隊 [redacted]

三、戰死者徵集年 「昭和八年」 「役種 補役」 「兵種 歩兵」 死亡前官等級陸軍 任官進級年月日 昭和一年一月一日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月十八日 午後二十四時 比島ルソン島プンカン

五、戰死現認ノ程度 地方

六、遺骨歸還ノ有無 中隊長戰死ニ付不明

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 「砲爆」 [illegible] 中隊長以下全員 [illegible] 敵ノ射撃ノ激シク 味方射撃 [illegible] 中隊長以下全員 戰死シタル者

八、死亡區分 戰死 事由 [illegible] 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地 ナシ

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 妻

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二二年三月十二日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係

所屬部隊名 戰 [illegible] 兵種 歩兵 官等級 陸軍 [illegible]

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右第一、三、一〇部の記載に相違なき事を證明す

昭和廿貳年三月拾七日 [redacted]

40-10

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted] 弟

氏名 [redacted]

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 北島 派遣 約 第一二〇三四部隊 [redacted] 隊 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

三、戰死者徵集年「昭六年」「役種予備役」「兵種歩兵」死亡前官等級陸軍 [redacted] 任官進級 年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月十八日夕刻「ミンダナヲ島」ジヤンクル内ニ於テ 戰死現認ノ程度 現認セサルモ上官ヨリ聽ク

五、戰死現認ノ程度 現認セサルモ上官ヨリ聽ク

六、遺骨歸還ノ有無 無シ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 昭和二十年四月十八日米軍ミンダナヲ島上陸ト同時ニ守備地ヲ退ク際ヤシ林内ニ於テ敵ノ攻撃ヲ受ケ戰死

八、死亡區分 戰死 事由 右肩貫通 銃創 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 妻

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年三月三日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 戰友

所屬部隊名 約第一二〇三四部隊 [redacted] 隊

兵種 輜重兵 官等級 陸軍 兵長

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右ノ通リ相違無キコトヲ證明ス

昭和二十二年四月十六日

[redacted]

8241

731

現認證明書

本籍地 [redacted]

現住所 右同ジ

所屬部隊 第四航空軍独立第七機関砲隊

官氏名 陸軍一等兵（死亡前） [redacted]

死亡場所 ボンボン（マニラ市東北二十四キロ位）

死亡區分 爆死

死亡日時 昭和二十年四月十九日 十三時三〇分

死亡傷（病）名 頭部貫通

留守擔當者住所 本籍地ニ同ジ

續柄氏名 妻 [redacted]

右證明する

昭和二十二年 月 日

現認者住所 [redacted]

元所屬官氏名 第四航空軍独立第七機関砲隊付 陸軍軍曹 [redacted] ㊞

17-11

現認（事實）証明書

本籍地
所属部隊 [redacted]
固有名 海上基地挺進隊第一中隊第一小隊
通稱名 戚 三三三〇部
昭和八年徴集 予備役 陸軍伍長（宗今月日 昭二〇、四、一九）

[redacted]年[redacted]月[redacted]日生

1、死亡年月日時分 昭和二十年四月十五日
2、死亡区分及傷病名 戦病死（ヤミハ病）
3、死亡場計 比島 刺部 呂宋
4、死亡状況
イ、死亡者と現認者との関係 同中隊 戦友
ロ、死亡前後の状況
比島マキン山（千七百高地）より北上 転進中病死

2-10

右の通り相違ない事を証明する

昭和二十二年二月二十二日

元 計[illegible]部隊
国府名 [illegible]
通稱名 威三三二〇部隊
現住所 [redacted]
旧職官等氏名 陸軍伍長 [redacted]

一、死亡者の本籍地 [redacted]

二、留守担当者の住所 [illegible]氏名
本籍地に同じ 兄 [redacted]

右相違ない事を證明する

昭和廿貳年參月拾貳日

[redacted]

死亡者確認書

所属部隊	第十一独立歩兵大隊 第四中隊
階級	[redacted]
氏名	[redacted]
続柄	妻 [redacted]
死亡年月日	昭和二十年四月十九日
死亡区分	戦死
死亡場所	比島ルソン島バタンガス州ダラガ山
認定	認定

右の通り確認する

昭和二十一年十一月十六日

所属部隊 第十一独立大隊

確認者 [redacted]

陸軍 [redacted]

昭和九年十月 [redacted]

[illegible]

死亡者現認書

所属部隊	特設第五十八機関砲隊 第一中隊
官等級	陸軍[illegible]
氏名	[redacted]
本籍	[redacted]
留守担当者	同右
続柄	妻 [redacted]
死亡年月日	昭和二十年四月十六日
死亡区分	戦死
死亡場所	比島ルソン島バタンガス州タラガ山
死亡者の認定	認定

経歴	[illegible]

右の通り現認する

昭和二十二年十二月十二日

所属部隊 特設第五十八機関砲隊 [redacted]

[redacted]

[redacted]

留守業務部 [illegible]

737

死亡者現認書

所属部隊号	特設第十一機関砲隊 第二中隊
階級	兵長
氏名	[redacted]
本籍地	[redacted]
[illegible]	同右
続柄	父 [redacted]
死亡年月日	昭和二十年四月十九日
死亡区分	戦死
死亡場所	比島ルソン島ベンゲット州ダラガン山
[illegible]	認定

略歴	
[illegible]	昭19.7.15 現地入隊 [redacted]
[illegible]	昭19.10.26
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]

右ノ通リ現認スル

昭和二十一年 [illegible] 月 [illegible] 日

所属部隊 特設第十一機関砲隊

現認者 [redacted]

陸軍 [illegible] [redacted]

738

死亡者現認書

所属部隊 [illegible]

[illegible] [redacted]

死亡年月日 昭和二十年四月十九日

死亡区分 戦死

死亡場所 比島ルソン島[illegible]山中

認定

右の通り現認する

昭和二十[illegible]年[illegible]月[illegible]日

所属部隊 [illegible]

現住所 [redacted]

官等級氏名 陸軍[illegible] [redacted]

右没者略歴

[illegible] 一等兵

兵長

昭和19.9.25 中部第[illegible]部隊入隊

[redacted]

[illegible]

現認證明書

本籍地 [redacted]
現住所 [redacted]
氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生
所属部隊 曉五一三一部隊
官等級 陸軍兵長
徴集役種兵種 [redacted]
一死亡年月日 昭和二十年四月十九日
一死亡場所 北緯 [redacted] 東北三十キロ モンタルバン
一死亡区分 戦死
一死亡事由又ハ病名発病年月日 昭和二十年四月十九日 モンタルバン警備中
現認事
北緯 マニラ東北三十キロ モンタルバン部警備中戦死
頭部貫通戦死
一遺骨有無 ナシ
一遺族現住所續柄氏名 [redacted] 妻
右相違無ク事ヲ證明ス
現認者官等級氏名 陸軍軍曹 [redacted]
所属部隊 曉五一三一部隊
現住所 [redacted]
昭和二十二年六月十八日

65-17

740

死歿證明書

所屬部隊 威第七六參參部隊
官等 陸軍上等兵
氏名 [redacted]
本籍地 [redacted]
尚書檜右番
死歿年月日 昭和二十年四月十九日十八時
同場所 比島ネグロス島 白井山 [redacted] 陣地
同區分 戰死

死歿事由
同經過
（具体的詳細ニ）
左胸部貫通銃創ヲ受ケ
時間位居存ニ死亡ス
多分敵約一中隊來襲ノ四時間位交戰

右證明致シ候ヲ
昭和二十一年 二月 十四日
證明者 本籍地 [redacted]
所屬部隊 威第七六參參部隊
官等 陸軍兵長
氏名 [redacted]

(印)

26-11

741

死亡事實(現認)證明書

本籍地 [redacted]

現住所 右同

所屬部隊 第九航空情報聯隊

徴集年 昭和十六年

官等級 衛生上等兵

氏名 [redacted]

右ノ者昭和二十年四月二十日十時三十分ルバノ島ニ於テ小銃彈胸部貫通ニ依リ戰傷死 [illegible]シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和　年　月　日

所屬部隊　職名 第九航空情報隊 第三中隊第一小隊兵器林

官等級 陸軍々曹

氏名 [redacted]

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス

一、職名ハ中・小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

(岩手八)

13-12

742

現認證明書

本籍地 [redacted]

所属部隊 [redacted]

官氏名 陸軍 死亡前（癸年月日）一等兵

死亡後 二等兵 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

一、役種兵種年次 [redacted] 二國、防空兵。昭和九年

一、死亡年月日時 昭和二十年四月二十日

一、死亡場所 比島、北部ルソン、「ムロンゲ」、野戦病院

一、死亡區分 戦病死

一、死亡事由又は病名発表月日及現認事由 マラリヤ混合型ニ依ル脳漿（分隊長ノ故ニ遺骨受領セラ）

一、遺骨ノ有無 無シ。（中隊ニテ厚安セルモ、情況悪化ニ陥シ連絡杜絶シ不明トナル）

一、遺族現住所續柄氏名 [redacted]

右相違無 [illegible] 證明する

昭和二十二年四月二十八日 現認 [illegible]

[illegible] 所 [redacted]

[illegible] 伍長 [redacted]

11-12

743

現事心實證明書

一、本籍地 [redacted]

一、所屬部隊 第十航空情報聯隊 [redacted]

官氏名 陸軍 死亡前 陸軍一等兵 [redacted]

死亡後 陸軍兵長 [redacted]

一、役種、兵種 年 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

一、死亡年月日 第二國民兵役 歩兵通信 二十三

昭和二十年四月二十日

一、同場所 マニラ東北六十料 イボ陣地

一、同區分 丙

一、[illegible] 戰死

一、遺骨の有無 無

一、遺族の現住所續 [redacted]

傾氏名

右相違無キコトヲ證明ス 兄 [redacted]

昭和二十五年五月二十九日 本籍地 [redacted]

[illegible] 第十航空情報聯隊 [redacted]

死亡者履歷	
年月日	記事
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]

19-12

744

寫

現認證明書

本籍地 [redacted]

現住所 右同

所属部隊 第四航空軍独立第七機関砲隊

官氏名 陸軍 陸軍一等兵（死亡前） [redacted]

死亡場所 ボソく（マニラ東北二十四キロ）

死亡区分 戦死

死亡日時 昭和二十年四月二十日十五時三〇分

死亡傷（病）名 胸部貫通

留守擔当者住所 現住所ニ同ジ

續柄氏名 妻 [redacted]

右證明する

昭和二十二年 月 日 現認者住所 [redacted]

[redacted] 地方世話部

16-11

745

現認證明書

本籍地 [redacted]

現住所 〃 〃 [redacted]

所屬部隊 第四航空軍独立第七機関砲隊

官氏名 陸軍 陸軍上等兵（死亡前） [redacted]

死亡場所 ボソ〜（マニラ東北 二十四キロ）

死亡區分 病死

死亡日時 昭和二十年四月二十日 十一時

死亡傷（病）名 マラリヤ病

留守擔當者住所 現住所ニ同ジ

續柄氏名 妻 [redacted]

右證明する

昭和二十二年 月 日

現認者住所 [redacted]

元所屬官氏名 第四航空軍独立第七機関砲隊付

[redacted]

20-12

746

現認證明書

本籍地 [redacted]

現住所 〃 〃 [redacted]

所屬部隊 第四航空軍独立第七機関砲隊

官氏名 陸軍 陸軍一ト兵（死亡前） [redacted]

死亡場所 ボツ〳〵 神力山（マニラ東北二十四キロ）

死亡區分 病死

死亡日時 昭和二十年四月二十日 十三時

死亡傷（病）名 マラリヤ病及胃病（発病二十年三月十日）

留守擔當者住所 現住所ニ同ジ

續柄氏名 妻 [redacted]

右證明する

昭和二十二年 月 日

現認者住所 [redacted]

元所屬官氏名 第四航空軍独立第七機関砲隊付

陸軍[illegible]名 [redacted]

12-12

747

現認事實 證明書

所属部隊名	通稱號	三三二八
本籍地	[redacted]	固有名
遺族の住所		續柄氏名

死亡者遺族に就いて

徴集年	役種	兵種	階級年月日	死亡前 年月日	死亡後 年月日	氏名
						[redacted]

死亡年月日時刻	昭和二十年四月二十日午前	時頃分	死亡場所	海岸平地

死亡區分 下記の處であてはまる箇所に○印を附すこと

戦死	戦傷死	戦病死	其の他

死亡の原因又は病名 發病年月日及現認事由 死体の處置 其の他參考事項

死亡者との關係 [illegible]

遺骨遺留品の有無及び無い場合の理由 ナシ

保管場所 /

右現認證明致します

昭和二十年十月十九日

現認者

現住所	[redacted]
所属部隊	三三二八 [illegible]
官等氏名	[illegible]

8-15

748

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）　威第一〇六六二部隊　独歩一八三大隊
一、徵集年　大正十三年　役種　予備　兵種　歩兵
一、官等（死歿前）　少尉　（死歿後）
一、氏名　[redacted]　[redacted]年　[redacted]月　[redacted]日生
一、死歿場所　中部ルソン　アンナボロ
一、死亡區分竝ニ事由　斬込隊長トシテ斬込戰斗中大腿部貫通銃創ニ戰死
一、死歿年月日時間　昭和二十年四月二十日下明時
一、死歿者本籍地留守[illegible]　[redacted]

右確認（證明）ス

昭和二二年一月十日

元所屬部隊名　威第一〇六六二部隊
現住所　[redacted]
元官等級　陸軍伍長
氏名印　[redacted]

註　死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先　[redacted]

[redacted]地方世話部　[illegible]係
認定係

749

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）　[illegible]

一、徵集年　[illegible]　役種　第二補充兵　兵種　[illegible]

一、官等（死歿前）　[illegible]　（死歿後）

一、氏名　[redacted]　年　[redacted]　日　[redacted]　日生

一、死歿場所　[illegible]

一、死亡區分竝ニ事由　[illegible]

一、死歿年月日時間　昭和二十年四月二十日　[illegible]時

一、死歿者本籍地留守擔當者　[redacted]

右確認（證明）ス

昭和二十二年一月十三日　元所屬部隊名　[illegible]

現住所　[redacted]

元官等級　[illegible]

氏名印　[redacted]

註　死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先　[redacted]

地方世話部慰恤係

750

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted]

氏名 [redacted]

年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 歩兵六十三聯隊 比島 派遣 鉄 第五四四 部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徴集年 昭六十八年 役種 現役 兵種 歩兵 死亡前官等級陸軍上 任官進級年月日 昭和二十年二月十日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月二十日 方二野戰病院

五、戰死現認ノ程度 病院ヨリ大隊本部通報ノ書類ヲ確認 又

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

八、死亡區分 戰傷死 事由 大腿部貫通發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊發落整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 [redacted]

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年一月十日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 同一隊同

所屬部隊名 歩兵六十三聯隊

兵種 歩兵 官等級陸軍 兵長

氏名 [redacted]

印

市町村長證明箇所

[redacted]

55-11

受 第116 22.1.20

151

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主

氏名 [redacted] 年 月 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 [illegible]

三、戰死者徵集年 昭大 年「役種 役」兵種 歩兵 死亡前官等級陸軍一 任官進級 年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 [illegible]

五、戰死現認ノ程度 [illegible]

六、遺骨歸還ノ有無 [illegible]

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 [illegible]

八、死亡區分 [illegible] 事由 [illegible] 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書一依リ申立カ、部隊職務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレハ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 [illegible]

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 [illegible]

所屬部隊名 [illegible]

兵種 歩兵 官等級陸軍 [illegible]

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所 [redacted]

222.10

143-10

752

事實證明書

本籍	[redacted]
所屬部隊	[redacted]第七大隊
現住所	[redacted]
通稱	威一七六六一部隊四二部隊
徵集年	昭一七
役	予備
兵	步兵
官等級	死亡時一等兵
死亡時上等兵	
氏名	[redacted]
留守擔任	
氏名	[redacted]
續柄	祖父
生年月日	[redacted]年[redacted]月[redacted]日
住所	[redacted]
勤務概要	比律賓マニラ防衛ニ任シマニラ東北方二四料附近高地ニ於テ戰死
勤務	部隊
勤務	位
死亡	區分 戰死
年月日	年月日 昭二〇 四二〇
場所	場
所	マルキ[illegible]料 北方六料 附近高地
死亡時ノ狀況	死亡時ノ狀況 正成山ニ於テ戰斗中敵空爆ニ依リ戰死
勤務	戰斗ニ參加

右ニ明ス

本籍 [redacted]

所屬部 マニラ防衛 臨時步兵第七大隊 第四隊

官等級氏名 元陸軍曹長 [redacted]

[redacted]

[redacted]

[redacted]

[redacted]

[redacted]

[redacted]

死亡證明書

所屬部隊 同有名 通稱隊 [illegible]

役種 兵種 死亡直前の官等 氏名 [illegible] 役 兵 [illegible]

本籍地 [redacted]

留守 現住所 [illegible]

[illegible] 氏名 [redacted]

死亡年月日時 [illegible]

死亡場所 [illegible]

死亡區分 戰病死

死亡經過 [illegible]

[illegible]

具體的詳細に特に[illegible]名 [illegible]

遺骨、遺留品の狀況 [illegible]

右證明致します

[illegible]

證明者 本籍地 現住所 所屬部隊 官等 [illegible]

死亡者生前に對する 戰死 [illegible]

氏名 [redacted]

17-10

死亡證明書

所属部隊 / 通稱號	第68旅團126聯隊7中隊 豊10005部隊 [redacted]
官等級 役種 任官年月日	歩兵 現役 昭和十[illegible]年[illegible] [illegible]
官等級 生前	昭19.2.1 死後
氏名 生年月日	[redacted]
本籍地	[redacted]
留守擔當者	[redacted] 續柄 母 氏名 [redacted]
死亡年月日	昭和20.4.20 [illegible] 分 戦死
死亡場所	[illegible] レイテ島 [illegible] ノ高地
死亡状況	傷病名 機銃弾[illegible] 左胸部[illegible] 大腿部[illegible]
[illegible]	[illegible]

遺骨 遺品 [illegible]

右證明ス

昭和二十二年四月三十日

旧所属部隊 豊一〇〇〇五部隊 [redacted]

陸軍軍曹 [redacted]

現住所 [redacted]

氏名 [redacted] 印

[illegible]

現認證明書

比島派遣戚第　部隊　隊

陸軍軍曹

右者昭和二十年四月二十一日ルソン島サラクサク岸ニ於テ

迫擊砲彈ニ依リ戰死（戰務死）セルコトヲ現認ス

昭和二十年四月二十一日

現認者元戚第一二九八部隊ニ隊陸軍楷級書長

現住所

氏名

12-11

757

(連)

所屬部隊	所屬部隊	比島派遣				
比島派遣	官等級	陸軍伍長				
戰第一〇六五九部隊	氏名	[redacted]				
官等級	死亡區分					
陸軍伍長	死亡箇所	ホホール島タクビラム				
氏名	死亡年月日	昭和二十年四月二十一日				
[redacted]	本籍地（留守擔當者住所氏名）	[redacted]				

北亡者地域

12-1

758

本籍地 [redacted] 遺族援護會
所屬部隊 威第一四六七二部隊 [redacted]
官職氏名 陸軍上等兵 [redacted]

一、傷病程度 兵 昭和十四年
一、死亡年月日時 昭和二十年四月二十日午前一時
一、死亡場所 比島マニラ東北方約四十粁の地点国際地モンタルバン附近
一、死亡の原因 戰死
一、死亡前後の状況 右記の通り 南方面部隊 各道戦闘
一、遺骨遺品 無し
一、遺族住所氏名 [redacted] 父 [redacted]

右相違無きことを證明する
昭和二十二年四月五日 證明所
[redacted] 比島派遣威第一四六七二部隊 [redacted]
留守 陸軍上等兵 [redacted]

15-149

717

現認證明書

[redacted]

所屬部隊 [redacted]

[redacted]

死亡前 陸軍 [redacted]

戦病 場所 新

受傷年月日

病名 復初實通

死亡場所 ルソン島マルブニユ山

死亡區分 戦死

死亡年月日 昭和二十年四月二十一日

摘要

右現認したることを證明す

昭和二十一年二月[redacted]日

現認者 現住所 [redacted]

所屬部隊 [redacted]

印

右相違ナキコトヲ證明ス [redacted]

22-11

760

現認證

所屬固有名 部隊通稱號：第八師團 ……中隊 [redacted] 小隊 [redacted]
役種 召集(應召)年月日：後補 13 一補
兵種 官等級：野砲兵 [redacted]
本籍地：[redacted]
留守擔當者 現住所 續柄氏名：[redacted] 父 [redacted]

死歿者略歷
出發(應召)年月日	昭和十九年六月一日
內地港灣出港年月日	昭和十九年九月十日
外地港灣到着年月日	昭和十九年十月一日
主要作戰名及期間並ニ其ノ時ノ勤務	~~[illegible]~~
階級進級年月日(入營應召ヨリ記入)	昭二〇・三・一 一等兵
其ノ他	

死亡認定
死亡年月日時	昭和二十年四月三日 時
死亡場所	比律賓呂宋島……ヤット
死亡區分	戰死 戰病死 戰傷死 ( )
死亡理由(傷病名)	ゲリラ軍ト交戰ノ際胸部ニ貫通戰死セル
死亡時ノ所持品 遺骨遺留品ノ有無	ナシ
功績ノ有無	

死亡前后ノ狀況(本人並ニ所屬部隊)
昭和二十年四月三日 [redacted] 隊ハ第八師團ニ合流ノ命ヲ受ケ同方面ヨリ北進中テベサット部落(東海岸)ニ於テゲリラ軍ニ遭遇我軍ノ行動ヲ阻止セラレ交戰ス其際大一隊ニ屬セル同君ハ胸部ニ敵彈ヲ受ケ壯烈ナル戰死ヲ遂グ

死亡認定ノ理由
1 自認 2 死體屋葬 3 他人ヨリ聽取 4 其ノ他( )

右之通リ認定ス

所屬部隊 第八師團 [redacted] 隊
現住所 [redacted]
官等氏名印 陸軍曹長 [redacted]

備考
一、死亡判明セル所ニ於ケル(ベク)詳シク記載セラレ度シ
二、死亡認定ノ理由ハ其ノ確度(例ヘバ昭和十九年十月二日頃)ヲ示サレ度ク
三、確認セシモノ記憶ニ基クモノ他人ヨリ聞キタルモノ

761

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted]

氏名 [redacted]

年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 [illegible] 派遣 [illegible] 第 [illegible] 部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徵集年 昭和 [illegible] 年 役種 [illegible] 役 兵種 [illegible] 兵 死亡前官等級陸軍 [illegible] 任官進級 年 月 日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 [illegible]

五、戰死現認ノ程度 [illegible]

六、遺骨歸還ノ有無 [illegible]

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 [illegible]

八、死亡區分 [illegible] 事由 [illegible] 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 [illegible]

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 [illegible] 年 [illegible] 月 [illegible] 日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 [illegible]

所屬部隊名 [illegible]

兵種 [illegible] 官等級陸軍 [illegible]

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所 [redacted]

[illegible]

一死亡年月日時 昭和二十一年四月二十一日 五時 [illegible]

一死亡場所 [illegible]

一死亡區分 戦死

一傷病名 頭部貫通創

一死亡當時ノ[illegible]

[illegible]

右現認ス

昭和二十二年四月二十日

現認者 現住所 元所属部隊 階級 氏名

[illegible]

763

現認證明書

南方 [illegible]遣

第十四軍 部隊 [illegible]隊 [illegible]

陸軍 [illegible]

右者昭和二十年四月二十三日 [illegible] 於テ

敵戰車ニ依リ戰死（戰病死）セル事ヲ現認ス

昭和二二年四月一日

現認者元 第 部隊 [illegible]隊 陸軍 階級 軍曹

現住所

氏名

21-10

戦歿者現認証

No　　昭和　年　月　日

本人

- 所属部隊固有名：暁洗第二七大隊
- 所属部隊通称号：暁第一二五八四部隊
- 本籍地：[redacted]
- 徴集年：昭和一九年 九三一合 短
- 役種：砲兵
- 兵種：兵
- 階級：一等兵（[illegible]）
- 氏名：[redacted]
- 生年月日：年　月　日生
- 死亡年月日時：昭和二〇年四月二二日 午前[illegible]時頃
- 死亡場所：比島マニラ郊外カロカン飛行場
- 死亡区分：戦死
- 傷病名：[illegible]

遺族

- 続柄：父
- 現住所：[redacted]
- 氏名：[redacted]

現認者

- 死亡事由：昭和廿年四月八日午前六時出発[illegible]市内[illegible]ノ[illegible]一[illegible]ヲ[illegible]中隊ハ（[redacted]兵団命令部命令）ニ依リマニラ郊外カロカン飛行場ニ於テ敵襲ヲ受ケ悪戦苦斗良ク善斗シタレド敵ノ[illegible]ノ[illegible]ニ抗シ得ズ七時頃ノ戦斗後一行中[illegible]名戦死セリ[redacted]ノ戦斗ニ於テ敵ノ自動小銃ノ[illegible]ヲ受ケ[illegible]戦死ス以上ノ[illegible]ス。
- 本籍地：[redacted]
- 現住所：[redacted]
- 戦歿者トノ関係：戦友
- 年齢：[illegible]歳
- 氏名：[redacted]（印）

965

4

現住地 右ニ同ジ

所属部隊 固有部隊 舞鶴第一高射砲第七七大隊 [redacted] 隊

通称號 [illegible]

官等級氏名(死亡前) 陸軍上等兵 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

右の者昭和二十年四月二二日午 時 分

於北部ルソン バレーテ峠 [illegible] 戦死(病傷名)したことを證明する

昭和二十年四月二十日

所属部隊 舞鶴第一高射砲第七七大隊

現住地 [redacted]

死亡者との關係 [redacted]

(舊)職官等級氏名 陸軍兵長 [redacted]

17

職	官等級	氏名	本籍地	連絡先
		[redacted]		

[illegible]

[redacted]

766

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted]

氏名 [redacted]

年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬（固有部隊名 通稱部隊號） 比島 派遣 第 [redacted] 部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徵集年（昭和二十三年）「役種ヲ補役」「兵種歩兵」死亡前官等級陸軍上 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月二十二日ルソン島リサル附ボソボソ町北方高地

五、戰死現認ノ程度 推定

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 ボソ〳〵町北方高地ノ守備陣地ニ於テ山ヲ綾ヒ塹壕露出セルニ集中

八、死亡區分 戰死 事由 發病年月日 昭和二十年四月二十二日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺番ニ依リ申立カ、部隊淺落整理班、幹部等ニテ整理スルカ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 父

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 七月十四日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 同村隊長 [illegible]

所屬部隊名 同村隊

兵種 官等級陸軍 [illegible]

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所 [redacted]

767

戰時死亡者現認證明書

所屬部隊	所屬部隊（通）[redacted]隊
	所屬部隊（因）[redacted]隊
死亡 年月日時	昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日
場所	[illegible]
區分	戰死
事由	
遺骨（遺留品）	[illegible]
徵集年	大明 [illegible]
役種	[illegible]
兵種	[illegible]
官等級	死亡後（昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日）
死亡後	死亡前（昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日）
氏名	[redacted]
生年月日	[redacted]年[redacted]月[redacted]日生
本籍地	[redacted]
留守擔當者現住所（續柄）氏名	現住所 [redacted]

右現認す

昭和　年　月　日

現住所 [redacted]

所屬部隊 [illegible]隊 [redacted]隊

官等級氏名 船舶工兵 兵長 [redacted]

上陸地名 名古屋港

上陸地支局に於て運輸濟や否や

上陸月日 昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日

[illegible]上の注意

一、所屬部隊は通稱固有部隊名をも判明程度に記入のこと

二、死亡欄は出來得る限り詳細に特に事由 傷、病名、發病（受傷）入院年月日入院病院名及其の他參考資料等併せ記入のこと、記事多き場合は附箋添付記入のこと

三、遺骨（遺留品）欄は有無有る場合は何處にありや（現地、上陸地支局、留守宅等記入のこと）

四、認印を忘れぬこと

五、同一人に對し二部調製のこと

履歷					
年月日	記事	年月日	記事	年月日	記事
昭18 10 9	入營、應召（入營時の官等級）	自昭 至昭	過去の概況	昭十八 十二 十九 十五	（入隊以後の進級階級）
昭18 10 20	大阪 港出發			十九 八 二十 五	二等兵
昭18 12 3	港上陸				一等兵

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）[illegible]

一、徵集年 [illegible] 役種 第一補充兵 兵種 [illegible]

一、官等（死歿前）[illegible]（死歿後）

一、氏名 [redacted]

一、死歿場所 [illegible]

一、死亡區分竝ニ事由 [illegible]

一、死[illegible]月日時間 昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日[illegible]時

一、死[illegible]本籍地留守擔當者 [redacted]

[redacted]年[redacted]月[redacted]日生

右確認（證明）ス

昭和[illegible]年[illegible]月[illegible]日

元所屬部隊名 [illegible]

現住所 [redacted]

元官等級 [illegible]

氏名印 [redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナッタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先 [redacted]

[redacted]地方世話部慰恤係

昭和二十一年　月　日　[redacted]　第　號

[redacted]地方世話部　死亡者調査認定票

昭和二十一年　月　日調製

留守業務課

本人

所屬部隊名　固有名　十四軍七四兵病

通稱名　咸四八ロ一

本籍地　[redacted]

徴集年　昭7

役種　補

兵種　歩

官等級

死亡前　上

死亡後

氏名　[redacted]

年　月　日生

死亡年月日時　昭20.4.23.0630

死亡場所　ルソン島バヤオ第十二陸病

死亡區分　戦病死

傷病名　マラリヤ兼脚氣（発病18.9.15）

留守當者

現住所　同本籍地

續柄　妻

氏名　[redacted]

調査認定

一遺骨状況　現地埋葬　無し

右現認す

[redacted]

南方第十二陸軍病院

衛生軍曹

[redacted]

印

名簿所見

記載ス

保管セス

抹消ス

抹消アリシ

停年名簿頁

判決

官等級議

点検印

認定

進級

告知

記錄

770

1361

昭和二十二年 月 日 [redacted] 冊（第 號）

死亡者調査表

昭和二十二年七月廿四日調製 調製者 [illegible]

課長	所長	部長	課	本籍	部隊	公報	遺骨

項目	記入
整理番号	
所属部隊（固有名）	※独歩第三六六大隊
通称號	※一五六五五
死亡時所属	留守業務局 [illegible] 課
氏名	[redacted]
兵種	※歩兵
役種	※現
徴集年	※17
死亡時の官等級	[illegible] 伍
生年月日	[redacted]
本籍	※[redacted]
留守担当者 現住所	※同
留守担当者 続柄氏名	※母 [redacted]
死亡年月日時	※20年4月23日 時 分
死亡場所	※比島 コタバト州 サランガニ [illegible]
死亡区分	※戦病死
死亡事由（傷病名）	※マラリア [illegible]
死亡直前の職務	※一般兵
遺骨遺留品の状況	
資料入手の経緯及所見	※右戦病死を確認す
現認者 現住所	[redacted]
現認者 所属部隊	独歩第三六六大隊
現認者 官	上等兵
現認者 氏名印	[redacted]
判決	[illegible]
未帰還届	有
公報番號	既に第 [illegible] 號

死亡者名票記載

遺骨受付番號

公報番號

（本表中※印の欄以外は第一世話課にて記入すること
記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり（記載上の注意をよく読んでから記入の事）
不備事項判明したるものは各班にて朱書すること）

民生部第一世話課

公

771

裏面記載例をよく見てペンか墨で書いて下さい

死亡證明書

區分	記事	確度
死亡者	○本籍地 [redacted]	
	○所屬部隊 第百三十六飛行場大隊（威第一八四五五部隊）	
	○官等級（死亡時） 死亡前 伍長	
	○氏名 [redacted]	
	○死亡年月日時 昭和二十年四月二十四日	甲
	○死亡区分 戰死（爆死）	甲
	○死亡場所 比島ルソン島ハギオ	
	死亡狀況 敵飛行機の爆撃に依り爆死す 現認しに	甲
	○（病名）	

6-13

死亡當時の部隊狀況

○遺骨遺留品の狀況　なし

○死亡者との関係　警備中隊（同一中隊）

右之通相違無之候也

昭和三十年十月三十日

本籍地 [redacted]

現住所 右同

所屬部隊 威第一八四五五部隊

官氏名印 [redacted]

印

上陸地	年月日

一〇印は詳しく書いて下さい

一〇のない所は記憶して居られること丈を書いて下さい

死亡事實(現認)證明書

本籍地 [redacted]

現住所

所屬部隊 歩兵第三一聯隊

徴集年 昭17

官等級 氏名 上等兵 [redacted]

右ノ者昭和二〇年四月二四日 四時

三十分 ルソン バルボル 行場 ニ於テ 迫撃破片 ニ依リ戰傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二二年三月三日

所屬部隊 職名 砲手

官等級 氏名 陸軍伍長 [redacted]

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス

一、職名ハ中・小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

[redacted]

(八)

60-17

274

V096

[redacted]地方世話部 死亡者 調査認定票

昭和二十一年 月 日調製

留守 務課

所屬部隊名 固有名 [redacted]

本籍地 [redacted]

徴集年 役種 兵種 官等級 死亡前 死亡後 兵長 氏名 [redacted]

死亡年月日時 昭20 4 24

死亡區分 戦死

死亡場所 比島ルソン島バレテ峠

傷病名 腹部貫通銃創

留守者 現住所 本籍地ニ同

續柄 妻

氏名 [redacted]

調査認定 分隊長 [redacted] 兵長すり聞き [redacted] 私信により

資料及資料ノ入手經路 調査 所屬部隊 元威第五三一四部隊陸軍衛生伍長 住所 [redacted]

名簿所見 記載ス 保管セス 抹消ス 抹消アリシ

停年名簿頁

判決 戦死

官詮等級議 兵長ニ進級

点檢印 認定ニ進級 告知 記錄

102-11

775

[redacted]第[illegible]號

事實（現認）證明書

本籍地 [redacted]

現住地 同右

所屬部隊 固有部隊名 旭兵団工兵聯隊第六中隊
通稱號名 威一二四一五部隊

官等級氏名（死亡前） 陸軍上等兵 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

右の者昭和二十年四月二十四日午 時 分 ルソン島 バキオ旭ビ ベンゲット街道 に於て戰死（病傷名 [illegible] 砲弾破片創）したことを證明する

昭和 年 月 日

所屬部隊 威一二四一五部隊第二中隊

現住地 [redacted]

死亡者との關係 戰友

（裔）職官等級氏名 陸軍上等兵 [redacted] 印

当時ノ戦況ハ重要面ヘ

現認品別紙参照

776

[illegible]

訓練名　陸戦学射砲第七十七大隊[redacted]隊

通稱名　戚一二四一五訓隊

旭等團七十一聯隊第六中隊

陸軍上等兵[redacted]

昭和二十年四月二十四日ルソン島バギオ地区ベンゲット街道

追撃確認ノ為死（内之隊参加）

右現認

戚一二四一五訓隊第二中隊[redacted]隊

陸軍上ト兵[redacted]

[illegible]

[illegible]

11-b

昭和十九年三月十二日 第六月歴召 (華鶴重砲隊)

同年六月一期第六月終了、中部七十二部隊へ転属

〃 七月 陸戦高射砲第七十七大隊編成

〃 門司出発 ([redacted]隊) 八重マンラ出陸、(戦斗参加)

九月一日 一等兵進級、

〃 十二月 北サンフエルナンド転進

二十年一月 バギオ進出、対空戦十参加

三月一日 付上等兵進級

同日 歩兵転化、旧兵團十一聯隊

四月 戦斗(切込隊)

四月二十四日 ― 二十七日 追撃砲弾、破片裂して戦死

地名 ルソン島ベンゲソト街道、ヤヤニカスリーに於て

11-13

778

現認証

戦死者 [redacted] 兵長

戦死場所 マンキンシー南方四十里

昭和二十年四月廿四日戦死ス

右ノ通リ戦死確認証明ス

昭和一千二百二十年二月二十日

[redacted]

コクセン（四四五号）

20-10

779

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted]

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 [illegible] 派遣 第五四七部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徵集年 昭和八年「役種 [illegible] 役」兵種 歩兵 死亡前官等級陸軍 任官進級 年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭二〇、二四、[illegible]島 [illegible]

五、戰死現認ノ程度 現認 (戰死場所)

六、遺骨歸還ノ有無 不明

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 敵攻撃ニ我ガ陣地ヲ十二頃セントシ空陸共同ニテ攻撃シ来レリ当日一〇七〇三ヲ砲撃戦列ニ於テ敵砲弾ニ依リ

八、死亡區分 戰死 事由 [illegible] 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立ヲ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 兄 氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 戰友

所屬部隊名 鉄五四七部隊 [redacted] 隊

兵種 歩兵 官等級陸軍 任長

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所 昭和二十二年二月七日 [redacted]

75-1

780

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted]

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 歩兵第六十三聯隊 又島 派遣 第五四四之一部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徵集年 昭和十七年 役種 現役 兵種 衛兵 死亡前官等級陸軍 任官進級年月日 昭和十九年十二月十日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月二十四日 比島 呂宗島 パレテ 沖

五、戰死現認ノ程度 [redacted] 任長現認ニ報知

六、遺骨歸還ノ有無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 砲撃ニ依リ負傷後退中敵狙撃ニ依リ戰死

八、死亡區分 戰死 事由 砲撃 發病年月日 昭和二十年四月二十四日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊幾務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

十、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 父 氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年 十二月 一日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 同中隊

所屬部隊名 歩兵 官等級陸軍 兵種 氏名 [redacted] 印

[redacted]

183-11

181

現認證明書

本籍地 [redacted]

所属部隊 [illegible]

一死亡年月日時 昭和二十一年 [illegible]

一死亡場所 比律賓中部ルソンアリタオ

一死亡區分 戰病死

一傷(遺)名 悪性マラリヤ

一死亡當時ノ狀況 昭和二十年二月ルソン島中部アリタオ附近作戰中苦ナ二月中旬頃悪性マラリヤニ罹リアリタオ病院ニ後送入院加療中本人死亡ニ對シ一報ヲ告病院ヨリ受ク

右現認ス

昭和二十二年二月二日

現認者 現住所 [redacted]

元所属部隊氏名 [redacted]

階級元陸軍[illegible]

[illegible]

40 [illegible]

782

現認證明書

本籍地
所屬部隊（通稱號）[redacted]
徴集年
官等級氏名　陸軍
（進級年月日）
死亡年月日　昭和二十年四月二五日
死亡場所　[illegible]
死亡区分（傷病名）病死
死亡状況　カツレー
右正に現認し證明す
昭和二十年二月十三日
現認者所屬部隊（通稱號）[redacted]
現住所
旧職官等級氏名（印）
[illegible]

[illegible]不明者の資料図

[illegible]	鉄道八联隊	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
死亡月日	昭和20年4月25日	死亡地所	ルソン島ベレテ峠
死亡場所	戦死	死亡時の階級	上等兵

[illegible]

資料提供者

中隊長 中野

[illegible]

26-10

784

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）[illegible]

一、徵集年 [illegible] 役種 [illegible] 兵種 [illegible]

一、官等（死歿前）[illegible]（死歿後）

一、氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

一、死歿場所 [illegible]

一、死亡區分竝ニ事由 [illegible]

一、死歿年月日時間 昭和 [illegible] 年 [illegible] 月 [illegible] 日 [illegible] 時

一、死歿者本籍地留守擔當者 [redacted]

右確認（證明）ス

昭和 [illegible] 年 [illegible] 月 [illegible] 日 元所屬部隊名 [illegible]

現住所 [redacted]

元官等級 [illegible]

氏名印 [redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベククソシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクソシクオ知ラセ下サイ

宛先 [redacted]

[redacted] 地方世話部慰恤係

死亡者調査表

昭和[redacted]年 月 日 地方世話部

項目	記入
所属部隊	※百師團工兵隊
通稱	※捷一〇六八三
徴集区分	昭14年 現役
兵種	※歩兵
官等	※兵長
死亡時の官等	兵長
本籍地	[redacted]
留守担当者	※同右 [redacted] 母
死亡年月日	※20年4月20日午後4時20分
死亡場所	※比島北部ルソン島バキオ
死亡区分	※戦死
傷病名	在比部隊西部(?)道
遺骨の有無	※無し（現地埋葬）

資料	記入
所属部隊	※百師團工兵隊
官	[redacted]

有 無

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted] 長男

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 比島 派遣 振武第四 部隊 [redacted] 大隊

三、戰死者徵集年「昭和三年」「役種 [illegible]」「兵種 歩兵」死亡前官等級陸軍 下 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月二十日マニラ東北方ノ戰斗ニテ「大タイ部」

五、戰死現認ノ程度 重傷セリト [redacted] 伍長ヨリ聽ク、甚發不明

六、遺骨歸還ノ有無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 前記ノ日期戰死サレ見模樣

八、死亡區分 戰死 事由 不詳 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊護務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 妻

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 二月二十五日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 戰友

所屬部隊名 獨立集成第九中隊

兵種 歩兵 官等級 陸軍 伍長

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右證明す

[redacted]

43-10

787

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted]

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 [redacted] 派遣 第 部隊 [redacted]

三、戰死者徵集年 昭和七年「役種」補役「兵種」歩兵「死亡前官等級陸軍 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月二十五日 マニラ南方テレサ東方ボソボソ山中

五、戰死現認ノ程度 推定

六、遺骨歸還ノ有無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

[redacted]

八、死亡區分 戰死 事由 [redacted] 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立ヲ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルガ、整理豫定ヲ、又ハ不明等記入） 申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

十、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 父 氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年 月 日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係

所屬部隊名 兵種 官等級陸軍 歩兵 兵長 氏名 戰友 [redacted]

市町村長證明箇所

右ノ通リ相違ナク候也

昭和二十一年二月一日 [redacted]

179-11

死亡現認證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊（固有名）上兵第六十四聯隊

徴集年 昭九年 役種

（通稱號）旭一一二部隊

兵種 歩兵

官等級 死亡前 死亡後 陸軍兵長

氏名 [redacted]

生年月日 一年 月 日生

留守擔當者住所 [redacted]

續柄 父 氏名 [redacted]

死亡	年月日時及區分	昭和二十年四月二十五日 ／時／分戰死
	場所	比島呂宋島マウンテン州パキオ市東北八粁
	傷（病）名	頭部貫通銃創
受傷（罹病）	年月日時	昭和 年 月 日 時 分
	場所	
	傷（病）名	
戰死（病死）の狀況		比島呂宋島マウンテン州プロト金地ニ於テパキオ市守備ノ爲旭一一二部隊布陣中同地ニ於テ戰ヲ三ヶ加第一線小銃ヲトシ奮ヲ行ヒ在リタルモパキオ市他方面ヨリ破レパキオ市東北方カンテ[illegible]戰死ヲ遂グ
受傷（罹病）の狀況		
內地港灣出發 戰地到著	年月日	不明
勤務の概要		不明

右の通り現認したことを證明す

昭和二十二年五月七日

本籍地 [redacted]

所屬部隊 旭一一二部隊

官等級 陸軍曹長 氏名 [redacted]

現認（死亡）証明書

昭和　年　月　日

地方世話部

所属部隊　固有名　マニラ防衛司令部　通称名　[redacted]

職業　年齢　役　補　兵　歩　官等　氏名　死亡　年月日生

死亡年月日時　昭和二〇年四月二五日午前　時　分　死亡場所　比島モンタルバン山中

死亡区分　戦死　傷病名

戦傷病者手帳番号　昭和二〇年四月二〇日　進士官以上任官年月日

死亡時の状況

認定資料　遺留品の有無　無

証明者

右証明候也

昭和二二年四月十七日

所属部隊　現住所　官等職氏名印　[redacted]

地方世話部長　[redacted]

殿

現認書

本籍地 [redacted]
部隊名 第十七航空通信隊
官等氏名 [redacted]

死亡年月日 昭和二十年四月二十六日
死亡場所 ルソン島サラサラ峠
死亡理由 第一線ニ出動中迫庸砲彈ヲ題訂ニ受ク
死亡区分 戰死

右現認ス

現認者
本籍地 [redacted]
部隊名 第十七航空通信隊
官等氏名 陸軍中尉 [redacted]

64-11

791

現認書

本籍地 [redacted]
部隊名 竹[redacted]
官等氏名 [redacted]

死亡年月日 昭和二十年四月二十六日
死亡場所 ルソン島サラサラ峠
死亡理由 第一線ニ出動中腹部ニ爆弾片ヲ受ク
死亡区分 戰死

右現認ス

現認者
本籍地 [redacted]
部隊名 第十七航空通信隊
官等氏名 陸軍中尉 [redacted]

65-11

792

現認書

本籍地 [redacted]

部隊名 第17航空通信聯隊

官等氏名 [redacted]

死亡年月日 昭和二十年四月二十六日

死亡場所 比島ルソン島 [illegible] サラクサク峠下

死亡理由 第一線ニ戰斗中迫車砲彈ニ依リ顯部破片創ノ爲戰死

死亡区分 戰死

右現認ス

現認者

本籍地 [redacted]

部隊名 第十七航空通信隊

官等氏名 陸軍中尉 [redacted]

66-11

793

戰時死亡者調書

區分	記事
本籍地	[redacted]
所屬部隊（固有名）	比島派遣威第一五三一一部隊本部（馬尼剌陸軍航空廠本廠）
役種徵集年	第二國民役 昭和五年徵集
官等級氏名	死亡前ノ官等級 陸軍一等兵
	死亡後ノ官等級 陸軍上等兵（各令）[redacted]
留守担當者住所	[redacted]
續柄氏名	[redacted]
死亡 年月日及區分	昭和二十年四月二十八日十四時三〇分戰（傷病）死、公務死、死
死亡 場所	比部呂宋島バヨンボン北十十キロ（ミンダール村）麻機ロッキードP38
死亡 傷（病）名	戰死 銃撃ニ依ル（後頭部貫通）
受傷（罹病） 年月日時	
受傷（罹病） 場所	
受傷（罹病） 傷（病）名	
現認者所屬	昭和21年3月20日 上陸復員者
官氏名印	威第一五三一一部隊 陸軍軍属[redacted]

2-12

794

2個

[redacted] 號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十一年三月十二日

[redacted] 地方世話部長 [redacted]

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通リ報告ス

追而 本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シアラサルニ付為念

所屬部隊	死亡年月日	死亡場所	死亡事由	部隊番號	役種兵種	官等級	氏名	本籍地	留守担当者現住所氏名
比島派遣 威九九〇七部隊	昭二〇 四月二六日	ネグロス島 シライ山中 又荣山ニ於	腹部貫通銃創ニテ戦死		現役 航空兵	曹長 六等給	[redacted]	右仝じ	[redacted]

右現認ス

現住所 [redacted]

所屬部隊 比島派遣威九九〇七部隊 [redacted]

留守業務部 21.2.23 4014號 受付

戦死証明書

本籍地 [redacted]
現住所 右同
所属部隊 威一〇六八九部隊 [redacted] 隊
官等級 陸軍一等兵 [redacted]
年
死亡時ノ官等級（死亡後公ニ）

一、死亡年月日時 昭和二十年四月二十六日 時刻不明
一、死亡場所 比島ネグロス島ダマゲテ西方八粁パレンピン
一、死亡区分 戦死
一、死亡事由及状況 パレンピン附近ノ戦斗ニ於テ突撃ノ部隊ト共ニ行動セシモ其ノ後消息ナク確認シ得ザリシモ右日時ナル遭遇戦ニテ戦死セルモノト推定ス
一、遺骨遺品ノ有無 無
一、遺族ノ住所続柄氏名 [redacted] 妻 [redacted]

右相違無キことを証明する

昭和 年 月 日 現住所
所属部隊 威一〇六八九部隊 [redacted] 隊
証明者 官等級氏名 陸軍曹長 [redacted]

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 本人

氏名 [redacted]

[redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 比島 派遣 鉄 第 六四四七 部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徵集年 昭和十六年「役種 予役」兵種 歩 兵死亡前官等級陸軍 上等兵 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和十九年四月二十六日 五時頃、中部ルソン島 ベレテ 峠

五、戰死現認ノ程度 本人ハ部隊長ヨリ直接報告ニ接ス

六、遺骨歸還ノ有無 無し

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 昭和十九年四月二十五日第二十隊ノ守備セル陣地敵ニ衝ヒ 同日夜半之ガ陣地奪回ノ目的ヲ以テ部隊長ハ全陣地ヲ攻撃セルモ 益烈ナル砲火ニ依リ戰死 續出 [redacted] 遂ニ二十六日 五時頃敵迫撃砲彈ニヨリ戰死セリ

八、死亡區分 戰死 事由 迫撃砲彈創 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 弟

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和八年 一一 月 二二 日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 上官

所屬部隊名 同部隊

兵種 歩 官等級陸軍 准尉

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

59-10

797

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 本人ノ戸主 氏名 [redacted]

[redacted]年[redacted]月[redacted]日生

二、所屬（固有部隊名 通稱部隊號）比島派遣振武集團[redacted]兵團（[redacted]大隊第一大隊）第[illegible]中隊 部隊 [redacted]大隊第[illegible]中隊

三、戰死者徵集年「昭十三」年「役種 第一補充兵役」兵種 步兵 死亡前官等級 陸軍上等兵 任官進級 昭和十九年十二月十五日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月二十六日 ルソン島リサール州ボソボソ北方陣地

五、戰死現認ノ程度 確定

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

昭和二十年三月[redacted]大隊ノ[illegible]線ニ[illegible]中隊（[illegible]）ハ中隊長[redacted]少尉以下生存リノ約八百名ハ陣地ニ據リ攻撃シ来ル連合軍ニ對シ應戰[illegible]ニ肉彈[illegible]本人ハ左下腿ニ負傷[illegible]中隊長[illegible]方[illegible]後退[illegible]同級先陣第[illegible]治療中[illegible]戰死ス

八、死亡區分 戰死 事由 右下腿[illegible] 發病年月日 昭和二十年二月十四日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者發生ニ依リ申立カ、部隊經理整理班、又ハ不明等記入）（申立書ナレバ上陸年月日及上陸地）

生存[illegible]

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 妻（[illegible]）

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十三年 月二十五日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 同部隊高級醫官

所屬部隊名 比島派遣振武集團[redacted]兵團[redacted]大隊

兵種 官等級 陸軍 軍醫中尉

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

右ハ相違ないことを證明します

昭和二十[illegible]年[illegible]月[illegible]日 [redacted]

93-10

798

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted] 長男

氏名 [redacted]

[redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 比島 派遣 [illegible] 第一二一・三部隊 久 隊

三、戰死者徵集年 「昭六十七年」「役種ニ補役」「兵種 砲兵」死亡前官等級陸軍一等 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和貳拾年四月二十六日 北部ルソンサンフエルナンド

五、戰死現認ノ程度 現認セザルモ [redacted] ニ聞イタ本人復員不明

六、遺骨歸還ノ有無 ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

昭和二十年四月二十六日サンフエルナンド戰闘中車上依リ敵機ノ銃車ヲ新部ニアタリ戰死確実トス

八、死亡區分 戰死 事由 [illegible] 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊義務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナシ 上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 父

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 參月 一日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係

所屬部隊名 比島派遣 [illegible] 一二一・三部隊

兵種 官等級 陸軍

氏 [redacted] 印

市町村長證明箇所 [redacted]

97-10

799

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 機砲方ニ戰隊 比島 派遣 東 第一二一〇三部隊 久 隊

三、戰死者徵集年「昭大十八年」「役種 現役」「兵種 砲兵」死亡前官等級陸軍一等兵 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月三十日 サンマニエル戰國中

五、戰死現認ノ程度 推定ス

六、遺骨歸還ノ有無 ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 昭和二十年四月三十日サンマニエル戰國中敵機ノ銃東デ東上ノ人名 全員戰死

八、死亡區分 戰死 事由 銃東 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セランタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 六月 一日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 戰ノ右

所屬部隊名 比島派遣 東一二一〇三部隊

兵種 砲兵 官等級 陸軍 兵長

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所 [redacted]

104-10

等役

戦殁者認定（證明）書

[redacted]縣民生部吉話[redacted]

一 死殁者所屬部隊名（通稱號）

一 徴集年 昭一一 殺種 予備役 兵種 歩兵

一 官等級（死殁前） 伍長 （死殁後）

一 氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

一 死亡場所 リサイ 九州 モレタハン 兵神名

一 死亡區分並ニ事由 生不

一 死亡年月日時間 昭和 20年 4月 27日 時

一 死殁者本籍地留守担当者 [redacted] 母 [redacted]

右確認ス

昭和 22年 4月 19日 元所屬部隊名 海挺基一八大

現住所 [redacted]

元官等級 上等兵

氏名 印 [redacted]

20-11

801

戦死者認定（証明）書

[redacted] 縣民生部世話課 [redacted]

一、死亡者所属部隊名（通称号）

一、徴集年 昭一一 [illegible]三回 兵種 工兵

一、官等級（死亡前） 一等兵 （死亡後） [redacted]

一、氏名 [redacted] [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

一、死亡場所 リザール州 モンタルバン 東神谷 附近

一、死亡区分並ニ事由 は不（戦斗中）

一、死亡年月日時間 昭和 20年 4月 20日 時

一、死亡者本籍地留守担当者 [redacted] 父 [redacted]

右確認ス

昭和21年 4月 6日

元所属部隊名 海挺第一〇大

現住所 [redacted]

元官等級 上等兵

氏名 [redacted] 印

21-11

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted]

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬（固有部隊名 通稱部隊號）歩兵六十六十三聯隊 比島 派遣 鉄第 五四四七 部隊 [redacted] 隊

三、戰死者徴集年 昭和八年「役種 補充役」兵種 歩兵 死亡前官等級陸軍一 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月二十七日 パラ峡ノナ

五、戰死現認ノ程度 死体確認

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 撃ニ於テ敵部隊接近應戰中戰死

八、死亡區分 戰死 事由 頭部 大腿部 盲貫 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立 昭和二十一年一月十九日 [illegible]

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 妻

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年一月十日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 同小隊員

所屬部隊名 歩兵六十六十三聯隊

兵種 歩兵 官等級陸軍 兵長

氏名 [redacted] 印

市町村長證明箇所

前書通リ相違無之候也

昭和二十二年一月十八日

[redacted]

115-11

803

戰死證明書

一、戰死者本籍地　戸主名續柄　戸主　[redacted]　氏名　[redacted]　年　月　日生

二、所屬（固有部隊名 通稱部隊號）　比島派遣第二十二聯隊第五四四七部隊　[redacted]　隊（[illegible]）

三、戰死者徵集年（昭和十四年）「役種者備役」兵種　[illegible]兵　死亡前官等級陸軍　[illegible]　任官進級年月日　昭和[illegible]年　月　日

四、戰死年月日時刻及場所　昭和[illegible]年四月二七日　[illegible]

五、戰死現認ノ程度　死体確認

六、遺骨歸還ノ有無　無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要　負傷人院ノ爲後退中砲彈破片ノ爲ニ戰死

八、死亡區分　戰死　事由　[illegible]　發病年月日　昭和　年　月　日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立ル、部隊殘務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）　申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所　[redacted]　戰死者トノ續柄　父　氏名　[redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年　月　日

證明者住所　[redacted]

戰死者トノ關係　[illegible]

所屬部隊名　[illegible]　兵種　[illegible]　官等級陸軍　兵長　氏名　[redacted]　印

市町村長證明箇所　[redacted]

182-4

現認証明書

戦病死者
所属部隊 独立歩兵第一七四大隊
官 氏名 陸軍伍長 [redacted]
死亡年月日 昭和二十年四月二十七日 十二時三十分
傷 病名 戰死（頭部貫通銃創）
場 所 比島オゲロヌ島ドマゲテ西南方三粁
死亡時ノ状況

右現認候也
昭和二十二年二月 六日

現認者
所属部隊 百二師独歩第一七四大
現住所
官 氏名 陸軍曹長 [redacted]

[redacted]

805

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）[redacted]

一、徵集年 [illegible] 役種 [illegible] 兵種 [illegible]

一、官等（死歿前）[illegible] （死歿後）[illegible]

一、氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

一、死歿場所 [illegible]

一、死亡區分並ニ事由 [illegible]

一、死歿年月日時間 昭和二十年 [illegible] 月 [illegible] 日

一、死歿者本籍地留守擔當者 [redacted]

右確認（證明）ス

昭和二十[illegible]年 [illegible] 月 [illegible] 日

元所屬部隊 [illegible]

現住所 [redacted]

元官等級 [illegible]

氏名印 [redacted]

（註）死亡事由、場所ハナルベクタワシク特ニ在職後ノ死亡ハ明細ニ、生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセドサイ

宛先 [redacted]

[redacted] 地方世話部認定係

[redacted]

28-11

806

生不
戰歿者認定（證明）書

[redacted]氏生部吉話[redacted]

一 死歿者所屬部隊名（通稱號）
一 徵集年 昭一三 役種三 回 兵種 迫信兵
一 官等級（死歿前）一等兵 （死歿後）
一 氏名 [redacted] [redacted]年 [redacted]月 [redacted]日生
一 死亡場所 リザール州マニラ東方 長神谷附近
一 死亡區分並ニ事由 生不
一 死亡年月日時間 昭和 20年 4月 28日 時
一 死歿者本籍地留守担当者 [redacted]

右確認ス

昭和 22年 4月 26日

文 [redacted]

元所屬部隊名 海拔基一八大
現住所 [redacted]
元官等級 陸軍上等兵
氏名 印 [redacted]

19-11

807

死亡確認者報告書　昭和二十二年六月十六日

所属(部隊名・通称号)	年月日	死亡の場所	死亡者官等級氏名		遺族の住所	遺族氏名・続柄	遺骨遺留品
(例)独立混成第二旅団　歩兵第二十一部隊	20.2.11	ルソン島バレテ峠　戦病死	上等兵　死亡前	兵長　死亡後	[illegible]	妻 木村 [illegible] 子	遺骨有　遺品無
野砲兵第二十六聯隊　杉四七三八部隊	20.4.28	ルソン島 [illegible] 戦死	[redacted] 上等兵	上等兵	[redacted]	[redacted]	無

証認資料参考

昭和十九年十一月二十九日 [illegible] 昭和二十年一月十一日頃 [illegible] 剣を受け戦死せし [illegible]

(死体は中隊で [illegible] せり)

昭和十九年七月二十五日満洲第一〇二部隊より [illegible] 北サンフェルナンドに上陸
[illegible] 二十五日 [illegible] 〇〇〇 [illegible] 白山地区に [illegible] 地 [illegible]
二十年四月二十八日 [illegible] 戦死

[illegible] 部隊 [illegible]

確認者　所属部隊 [illegible] 隊 [redacted] [illegible] 階級氏名 [redacted]

現住所 [redacted]

◎ [illegible] 確認資料欄は出来る限り詳細に記入し [illegible] 死亡の場所 [illegible] 明瞭に記入して下さい

本籍	[redacted]
部隊名	歩兵第六四聯隊
通称號	旭一一二部隊
官等氏名	軍医見士 [redacted]
死亡した場所	バンバン街道二十八粁
死亡した年月日	昭和二十年四月二十八日
死亡の種類	戦死
戦死の状況	ゲリラ部隊に狙撃せられ即死
戦病死の状況	
死亡の年月日、場所、病名等を記入す	
死亡の場所	なし
現住所	[redacted]
部隊名	歩兵六四聯隊
通称號	旭一一二部隊
死亡者との関係	同本部の軍医なるを以て知る
官等級氏名印	[redacted]

印

93-10

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）

一、徵集年　役種　兵種

一、官等（死歿前）（死歿後）

一、氏名　[redacted]　[redacted]年[redacted]月[redacted]日生

一、死歿場所

一、死亡區分並ニ事由

一、死歿年月日時間　昭和二十年四月二十一日

一、死歿者本籍地留守擔當者　[redacted]

右確認（證明）ス

昭和二十五年四月二十日

元所屬部隊名

現住所　[redacted]

元官等級

氏名印　[redacted]

註　死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先　[redacted]

地方世話部慰恤係

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）
一、徵集年　役種　兵種
一、官等（死歿前）　（死歿後）
一、氏名　年　月　日生
一、死歿場所
一、死亡區分並ニ事由
一、死歿年月日時間　昭和　年　月　日
一、死歿者本籍地留守擔當者

右確認（證明）ス

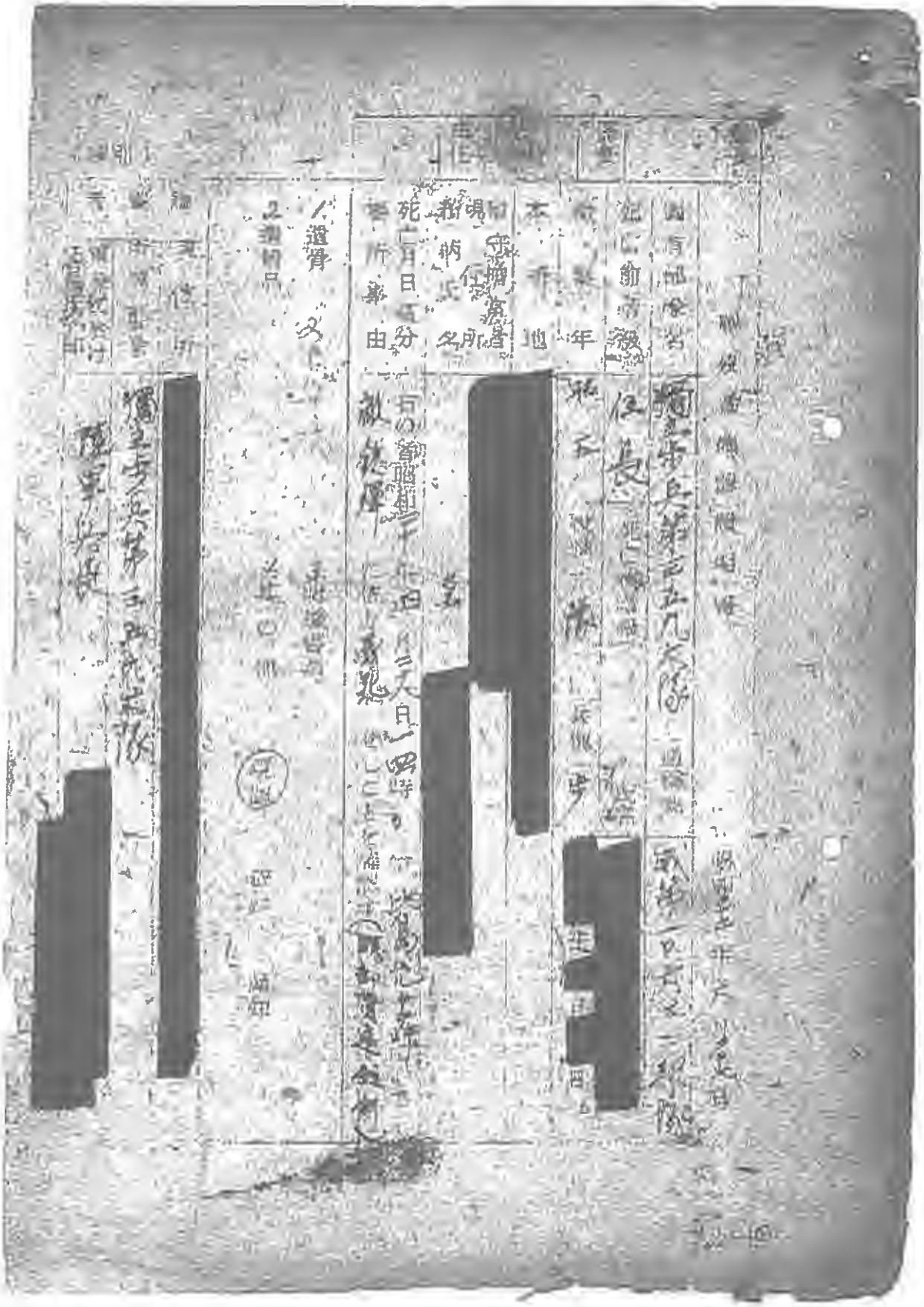
昭和二十二年七月四日

元所屬部隊名
現住所
元官等級
氏名印

註　死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先

諸謹係



弐

死亡者見認證

所屬部隊	[illegible]第二十三聯隊[illegible]
本籍地	[redacted]
死亡場所	[illegible]新地[illegible]
氏名	[redacted]
死亡年月日	昭和二十年四月二十?日
死亡原因	[illegible]
傷病名	[illegible]
遺骨	ナシ

死亡者經歷		
入營年月日	昭和十九年五月十二日	[redacted]
外地渡航年月日	昭和十九年九月?日	
[illegible]年月日	昭和十九年十月五日	

[illegible]

右ノ通リ確認ス 昭和二十?年?月 [illegible]部隊

歩兵第二十三聯隊

部隊長 [redacted]

23.10

事實（現認）證明書

所屬部隊
固有部隊名 独立重砲兵第四大隊
通稱號名 威第一二一八部隊
官等級氏名（死亡前） 陸軍一等兵 [redacted] 隊

本籍地 [redacted]
現住所 本籍地ニ同ジ

右ノ者昭和二十年四月二十八日薪ノ時・分南部
ルソン島サンナセ附近ニ於テ戰死シタルコトヲ證明ス

昭和二十二年四月二十七日

固有部隊名 独立重砲兵第四大隊
通稱號名 威第一二一八部隊 [redacted] 隊
本籍地 [redacted]
職官等級氏名印 陸軍兵長 [redacted]

21-10

814

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted]

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 比島 派遣 振武集團 第 [redacted] 兵團 部隊 [redacted] 大隊 第三中隊

三、戰死者徵集年 昭和8年「役種 役」兵種 歩兵 死亡前官等級陸軍上等兵 任官進級年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年四月二十一日午前四時頃、ルソン島リサール洲ボリボソ部北方 約十六粁澤等ニテ

五、戰死現認ノ程度 確定

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 斬込戰ニ於テ仕掛ケラレタル手榴彈ノ発火装置ニ引掛リ受傷シ、隊治療 続行中戦死ス

八、死亡區分 戰死 事由 右ニ身手榴彈破片創 發病年月日 昭和二十年四月十四日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊義務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地、生存幹部ニヨル

一〇、遺族ノ現住所 [redacted] 番

戰死者トノ續柄 妻

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 二月 一日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 同部隊高級医官

所屬部隊名 比島派遣振武集團 [redacted] 兵團 [redacted] 大隊

兵種 官等級陸軍 軍医中尉

氏名 [redacted]

市町村長證明箇所 印

108-10

815

現地事實

證明書

一本籍地 [redacted]
一所屬部隊 飛行二六戰隊（成八三九九）
宮氏名陸軍 死亡前 死亡後 上等兵 [redacted]

[redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

一役 [illegible] 兵種 年 現役 飛行兵 二十七年
一死亡 [illegible] 月 日 二十四年 四月二九日
一同場所 マニラ東方二〇キロ山中
一同 [illegible] 分 戰死
一現 [illegible] 頭部貫通銃創
一遺 [illegible] 無 無シ
一遺 [illegible] 氏名

右相違 [illegible] ヲ證明ス

昭和22年9月 [illegible] 日

現認者 本籍地 所屬部隊 階級氏名 飛行二六戰隊（成八三九九）
上等兵 [redacted]

死亡者履歴	
年月日	記事

25-12

816

死亡事實(現認)證明書

本籍地 [redacted]

現住所

所屬部隊 野砲兵第八聯隊

徵集年

官等級 上等兵

氏名 [redacted]

右ノ者昭和二十年四月二十九日二十二時

分 南部ルソン マルヤンヨウニ於テ 砲彈破片創(腹部貫通)ニ依リ戰傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十二年二月十九日

所屬部隊 職名 野砲兵第八聯隊

官等級 伍

氏名 [redacted]

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス

一、職名ハ中、小隊長、砲手、操縱手等ト詳記ス

[redacted]

31-11

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）[illegible]第一〇三一五部隊
一、徵集年 昭十三 役種 補充 兵種 歩兵
一、官等（死歿前）兵長（死歿後）
一、氏名 [redacted] [redacted]年[redacted]月[redacted]日生
一、死歿場所 比島カラクサイ
一、死亡區分並ニ事由 戰死
一、死歿年月日時間 昭和二十年四月二十九日 [illegible]時
一、死歿者本籍地留守擔當者 [redacted] 妻 [redacted]

右確認（證明）ス

昭和二十二年一月十二日

元所屬部隊名 [illegible]第一〇三一五部隊
現住所 [redacted]
元官等級 [illegible]
氏名印 [redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先 [redacted]

[redacted]地方世話部慰恤係

90-4

818

※ 死亡現認証明書 ※

調製 昭和 年 月 日

課長 | 係長 | 主任 | 取扱者 | 兵籍 | 整理番號 | 回號 | 第 第

死歿者

所屬部隊 固有中道第四大隊 振武第一〇五〇部隊

本籍地 [redacted]

徴集年 昭14 役種 予 現 兵種 山砲 級 兵 死亡名

氏名 生年月日 [redacted] 年 月 日 本

死亡年月日 昭20 4 29

死亡場所 比島ルソン島リサール州三九〇高地

死亡區分 戰死

傷病名 頭部貫通銃創

留担 常守者

現住所 本籍地に同じ

統柄 養父 氏名 [redacted]

戸主氏名 同上

死亡者 統柄

認定資料

發病 受傷 年月日 昭20 4 29

發病 受傷場所 比島ルソン島リサール州三九〇高地

入院年月日

入院場所

受傷(發病)より死亡に至る迄の狀況

昭20 4 29 名朱島リサール州三九〇高地(通称一誠山)に於て激戦中

頭部貫通銃創に依り即死す

23-10

819

入死	亡	隊着	履	後歴	遺骨状況	現認者	所	※	見	調製上の注意
19.6.20	19.7.12	19.7.29	19.8.1	19.11.30	19.12.1	現往所				一、※印の箇所は當部に於て記入す 二、履歴欄には入隊より戦死に至る迄詳細に記入のこと 三、戦死當時の状況は特に明瞭詳細に記入のこと 四、一部調製とす 始筆書は不可 五、本書送り先は [redacted] 教育氏生部第一古部課現認係宛とす
中部方四。部隊應召	門司港出発	基隆港上陸	台中警備	高雄港出発	ナシ	現認者				
19.12.12						所屬部隊	中迫方四大隊			
ベニラ港出発						同隊軍醫				
						階級	軍屋中尉			
						氏名	[redacted]			
						上陸後関係官廳へ報告（通報）有無				
					ナシ					

印

23-11

戰死證明書

一、戰死者本籍地 [redacted]

戸主名續柄 戸主 [redacted]

氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

二、所屬 固有部隊名 通稱部隊號 [illegible] 派遣 [illegible] 第 [illegible] 部隊 [illegible] 隊 [redacted]

三、戰死者徵集年 昭和 [illegible] 年「役種 補役」「兵種 [illegible]」兵死亡前官等級陸軍 [illegible] 在官進級 年 月 日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年 [illegible] 日 [illegible] ルソン [illegible] ハレテ [illegible]

五、戰死現認ノ程度 [illegible] ヲ確認ス

六、遺骨歸還ノ有無 ナシ

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 ハレテ [illegible] 陣地構築中ナリシ [illegible] 成施体ニアリシ時 [illegible] 上物ノ下敷トナリ戰死ス

八、死亡區分 戰死 事由 爆死 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他（上陸地ニ於テ死亡者覺書ニ依リ申立カ、部隊碑務整理班、幹部等ニテ整理スルカ、整理豫定カ、又ハ不明等記入）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所 [redacted]

戰死者トノ續柄 [redacted]

氏名 [redacted]

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十一年 十二月 十七日

證明者住所 [redacted]

戰死者トノ關係 戰友

所屬部隊名 [illegible] 兵種 [illegible] 官等級陸軍 [illegible]

氏名 [redacted]

市町村長證明箇所 [redacted]

右之通相違[illegible]ヲ證明ス

印

160-11

[redacted]

遺骨 神認証明書

[redacted]

第六航空通信聯隊第二中隊

陸軍一等兵

年 月 [redacted]

一役種 兵種 [illegible]

死亡年月日 昭和二十年四月五十日

死亡場所 比島 ルソン島 サラクサス峠

一死亡区分 戦死

一死亡ニ至ル原因 敵弾ニヨリ戦死セル旨部下ヨリ報告ヲ受ク

一遺骨ノ有無 無

一遺族現住所 本籍地 父 [redacted]

右相違ナキコトヲ証明スル

昭和 年 月 日 現住所 [redacted]

所属部隊 第六航空通信聯隊第二中隊

陸軍中尉 [redacted]

現認者 [illegible]

10-12

本籍地 [redacted]

第六航空通信联隊第二中隊

官氏名 陸軍 死亡前 死亡後 [illegible] 兵長 [redacted]

一 [illegible] 年次 昭一八、現、航

一 [illegible] 月 將 昭二〇年四月三十日午前十一時二十分

一 死亡場所 比島「ルソン島」サラクサス峠

一 死亡区分 戰死

一 死亡事由又は病名發病年月日及現認事由

迫撃砲彈破片、胸部貫通

一 遺骨の伴帰場所 [illegible]隊長陸軍中尉 [illegible] より傳言

一 遺族現住所續柄氏名 本籍地に同じ 父 [redacted]

右相違無きことを證明する

昭和二十二年五月二十七日

現認者 現住所 [redacted]

[illegible] 第六航空通信联隊第二中隊

[illegible] 陸軍 [illegible] [redacted]

10-13

823

現認證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊 比島派遣威第三一七七部隊

官等級氏名 兵長 [redacted]

發病場所 中部ルソン、ピナツボ山

受傷年月日

傷病死

死亡場所 中部ルソン ピナツボ山

死亡區分 戰病死

死亡年月日 昭和二十年四月三十日

摘要 栄養失調ガ原因ニテ、マラリヤヲ併発ス

右確認したることを證明す

昭和廿二年四月十四日 現認者

現住所 [redacted]

所屬部隊 威三一七七部隊

官氏名

上等兵 [redacted]

22-12

824

現認證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊 歳一八一九三部隊

官等職氏名 陸軍兵長 [redacted]

發病場所

受傷年月日

傷病死

死亡場所 比島「ロンゴ」島、イサベラ州カワヤン町附近「地名不詳」

死亡區分 頸部貫通銃創（戦死）

死亡年月日 昭和二十年四月 日

現要

右者認したることを證明す

昭和二十五年五月二十五日 現認者

現住所 [redacted]

所屬部隊 歳一八一九三部隊

官氏名 陸軍兵長 [redacted]

2

35-14

825

死亡確認書

威第九三一二部隊

陸軍技術[illegible]

右者別紙確認票ノ通リ昭和二十年四月三十日北部ルソン島ツゲガラオ飛行場北方アトラセン部落ニ於テコマラリヤ」ニ因リ戦病死セルコトヲ確認候也

但シ死体ハ現地ニ於テ埋葬ス

右確認候也

昭和二十二年五月廿七日

[redacted]

確認者 所属部隊 威第九三一二部隊

元陸軍雇員

[redacted]

陸軍

写し

突然ながら書面を以て失禮乍ら先日比島
より復員致し目下自宅に於て傷痍手當し静養
致し居りますが御見[redacted]様の事に付き誠に御気の
毒存じ御報告申上げます[redacted]様は大尉（二十歳）
昭和二十年四月　時三〇分比島[redacted]ホクロス断崖附近
に於て敵の迫撃砲の爲めに腹部及頭部を負傷の戦
死を遂げられました[redacted]様の部隊は同部隊
に在りて航空整備学校より派遣の審査部
其、又比島の飛行場（東部方面第二六部隊）
に於てかりそめても高射砲隊の整備の任として
臨んだ際口の戦に依れ共に生死を分ち合ひ
最後の決戦に参加致します　右御援は
昨年（十九年）十月二十一日と思ひますが役所で公示
有り候ふ請ひ被[redacted]一者　諸人と同郷人　年

827

又戦争の為徴兵として比律賓に渡りま
した。今亡き増長殿の御新古里入戦間様初め
河家の御一同様は助かり多く驚きと御尋ねし
御親戚兄上様御従兄弟との事等御
案じていただいていたりして何かと世話に
新しまたそれから大東亜（戦争）二月比島悪化
の日民軍は山に登りました。航空隊の我々も
六〇名からある斬新なる日の様に軍隊と化し体
の大吏の部長殿は隊に率先陣頭に立
たれて兵の指揮せられ活躍せられましたが
遂に四月（昭和二十年）初旬米軍上陸
地上戦斗は開かれ山に陣取りし我々は食
糧難と戦い敵の砲火と戦い飛行機と
戦い熱地特有の病と戦い度に悩

なる戦斗を続けました[redacted]様は元氣が二
ケ月の間まるで人の変つたる如く力戦奮斗せら
れましたが四月三十日（明和平年）敵の陣地に寄せ
来る前の日でした形容致し難ひ迫雲砲の攻撃
に正に身の置く所を亀き有様でした此の
時陣地に下りて第二分隊長として活躍せられ
[redacted]様の傍に落ちし敵丘の一弾は横
二命中名与の戦死を遂げられました其の
時小生は第六分隊時出として落る事約三
ヤロの地点に有りし為め翌日戦死の報を聴
き一日と思へど実に残念でした翌五月一日最
早陣地所に於て仕到なる白兵戦を轉用残
念作ら後退退し御恩を受けた夢長殿の遺
骨遺髪を取る事も来ず我に出澤は夜

いませんか何卒寒中乍ら充分御承知下さい

前略 残暑厳しい折 [redacted] と云はれる方に [redacted]

[redacted] 様と宿屋二の激務でした [redacted] の家には是非

行き度いと思はれて居りましたが お店は代書も兼

帰りになられるといいと思はれます 一寸書面 [redacted]

遅延 お前が行きて良く教示申上げて下さく

遅れ乍ら帰りまして 今日は今日はと思ひつく

澤山や頂戴致して風邪をひきかけるは[illegible]

の在残の雨あって困って天気の時と申したが恐縮

近々本部中之件の関係子宮[illegible]に 敬具

中共って初めて道路ましたに外國に入

昭和廿一年十二月廿一日 [redacted] 拝

[redacted] 様

御養父様 前

1-146

830

死亡現認證明書

所屬部隊名	独立飛行第二十中隊
死亡者	陸軍上等兵
死亡年月日	昭和二十年四月
死亡区分	戦死
死亡場所	ルソン島バリテ峠ヘ
傷病名	
死亡者	
現認事由	斬込隊ニテバリテ峠禿山ニテ戦死ス
所屬部隊名	独立飛行第二十中隊
住所	陸軍伍長

(印)

22-12

船舶工兵第三十二聯隊

號 一九六六四

[redacted]

[redacted]

戦死

比島 レイテ島

船舶工兵第三十五聯隊

陸軍上等兵

戦死（昭一九、一一月十八日編成より）

[redacted]

14-12

死亡證明書

事項	證明事項
1. 死没者の本籍、[illegible] 者の住所 氏名 [illegible]	[redacted]
2. 死没者の所属部隊 [illegible] 死亡当時の所属 氏名 (死亡当時の [illegible])	[illegible] (部隊 [illegible]) 隊長 [redacted]
3. 死亡年月日時 ([illegible]) 死亡場所 (詳細に)	昭和 [illegible] 年 [illegible] 月 [illegible] 日 [illegible] [illegible]
4. 死没の原因 (1) 戦死の場合は何時何処に於て如何に受傷したか (2) 戦病死の場合は何時何処で発病し [illegible] 如何に処置し [illegible] 死亡したか (3) [illegible] 病院に入院 [illegible]	[illegible] 戦死 [illegible]
[illegible]	[illegible] [redacted] [illegible]
[illegible]	[illegible] [redacted] [illegible]
[illegible]	[illegible] [redacted] [illegible]

[illegible] [redacted]

[illegible] [redacted]

[redacted] [illegible] [redacted] [illegible]

現認證明書

本籍地		[redacted]
部隊名	個有名	熊本二三師 歩六四聯
	通稱號	旭一一一一部隊
官等氏名		一等兵 [redacted]
死亡した場所		比島北部ルソン島 カブヨ陣地
死亡した年月日		昭和4 下旬
死亡區分 戰死、戰病死		戰死
戰死の狀況 場所、負傷部位等を記入する		詳細不明
戰病死の狀況 發病年月日、場所、病名等を記入する		
遺骨、遺留品の狀況		なし
現住所		[redacted]
部隊名	個有名	熊本二三師 歩六四 一中隊
	通稱號	旭一一一一部隊
死亡者との關係		同中隊
右の通例現認する		
官等級氏名		曹長 [redacted]

死亡者の

現認者の

100-11

死亡事實證明書

本籍地 [redacted]

所屬部隊固有名 比島第六鉄道輸送隊 通稱地 威一〇三一五

徴集年（任官年） 大十二（昭二）

役種 予備

兵種 歩兵

死亡前官等級（同發令年月日） 中尉（昭五・九・一五）

氏名（生年月日） [redacted]

留守 住所 本籍地ニ同ジ

擔當者 續柄 氏名 妻 [redacted]

死亡年月日時 昭二〇・四下旬 八時

死亡區分 戦死

死亡場所 比島ルソン島 バレテ峠

死亡事由 復部迫撃破片創 昭 負傷後 發病二時官

傷病死 右ニ同ジ 昭 戦死 入院

死亡後階級の要否 要有り

死亡状況 比島ルソン島バレテ峠ニテ作戦中 昭和二十年四月二十四日 兵隊来襲迫撃砲弾ノ為 復部迫撃破片創為 負傷シ二時間ノ為 十八時戦死セリ 確認ス

右の通り相違なきことを證明する。

昭和 年 月 日

本籍地 [redacted]

（現住所） 右同ジ 七三二番地

元所屬部隊 比島第六鉄道輸送隊 [redacted] 隊

階級氏名印 陸兵公費 [redacted]

9-11

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）歳第一〇六八一部隊（第十四方面軍野戰自動車廠）

一、徵集年 昭一二 役種 陸伊役 兵種 歩兵

一、官等（死歿前）伍長 （死歿後）

一、氏名 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日生

一、死歿場所 比島ルソン島北ハンハン

一、死亡區分並ニ事由 橋梁擊伊中敵機の爆撃に依り全身爆弾破片創口ニ戰死

一、死歿年月日時間 昭和二十年四月下旬日

一、死歿者本籍地留守擔當者 [redacted]

右確認（證明）ス

昭和二十二年六月二十七日

元所屬部隊名 歳第一〇六八一部隊

現住所 [redacted]

元官等級 上等兵

氏名印 [redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先 [redacted]

世話部隊 世話課

戰歿者確認（證明）書

一、死歿者所屬部隊名（通稱號）[illegible]部隊

一、徵集年 [illegible] 役種 [illegible] 兵種 [illegible]

一、官等（死歿前）[illegible]（死歿後）

一、氏名 [redacted] [redacted]年[redacted]月[redacted]日生

一、死歿場所 [illegible]

一、死亡區分並ニ事由 [illegible]

一、死歿年月日時間 昭和二十年[illegible]月[illegible]日[illegible]時

一、死歿者本籍地留守擔當者 [redacted]

右確認（證明）ス

昭和二十二年一月十三日

元所屬部隊名 [illegible]部隊

現住所 [redacted]

元官等級 [illegible]

氏名印 [redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベクソシク特ニ終戰後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先 [redacted]

[redacted]地方世話部慰恤係

104

部長	課長	科長	連帶者

昭和二十二年　月　日 [redacted]（第　號）

死亡者調査表

昭和二十二年　月　日調製

地方世話部

調製者

整理番號	
所屬部隊	固有名 ※第一三四兵站病院
	通稱號 ※威四〇四
留守業務局所管課	
徵集年	※4
役種	※補
兵種	※衛
官等級	
死亡時の官等並に發令年月日	※上等兵
死亡	伍
氏名	※[redacted]
生年月日	[redacted]
本籍地	※[redacted]
留守擔當者 現住所	※
續柄氏名	※事
死亡年月日時	※20年4月20日13時30分
死亡區分	※戦病死
死亡事由傷病名	※マラリヤ
死亡場所	※比島 ルソン島 バヨンボン
發病（受傷）年月日	※20年3月28日
死亡直前の職務	※病室附
遺骨遺留品の狀況	※現地埋葬

資料入手の經緯及所見

※[illegible]

右現認す

現認者	
現住所	※[redacted]
所屬部隊	※第一三四兵站病院
官等	※上等兵
氏名印	[redacted]

判決	
官詮等級議	
未歸還届	有 第147號
	無

死亡者名票記載
死亡者原簿番號
公報番號

◎本表中※印の欄以外は世話部にて記入すること

◎記載上の注意並に履歷欄は裏面にあり（記載上の注意をよく讀んでから記入の事）

3-10

838

死亡者調査表

整理番号

昭和二十二年 月 日調製 地方世話部 調製者印

項目	記入
所属部隊	固有※ 通称※ 勤一〇六〇八
留守業務部所管	
兵種	※工兵
官等 級	長
氏名	[redacted]
本籍地	[redacted]
留守担当者現住所	※同
続柄氏名	※父 [redacted]
死亡年月日時	※二〇年八月三〇日
死亡区分	※戦病死
死亡場所	※マニラ東南方バグンバヤン
死亡直前所属部隊	[redacted]
遺骨遺品	※現地埋葬
資料入手経緯及所見	右記人（一）…
現住所 所属部隊 官等	※ 勤一〇六〇 ※伍長 [redacted]
判決	
官等級號	
遺家族	有 無

死亡者名記載

死亡公報發送

◎本表中※印の欄以外は世話部にて記入すること

839

本籍 [redacted] 現住所 本籍地ニ同ジ 昭和二十二年二月十一日

項目	記載
所屬部隊 固有名	步兵第七十四聯隊第二機関銃中隊 通稱號 比島派遣威第一二〇二四部隊 [redacted] 隊
兵種	歩兵
官等級	上等兵
死亡時	
兵役	昭十六 現役
氏名	[redacted]
生年月日	[redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日
留守擔當者 住所	[redacted]
氏名	[redacted]
續柄	長男
勤務概要	機關銃二番銃手 勤務成績良好ナリ

	死亡	傷病
區分	戰死	
年月日	昭和二十年四月三十日	
場所	比島ミンダナオ島ブキドノン州アルロ附近	
死亡時ノ狀況 / 傷病時ノ狀況	アルロ附近戰斗ニ於テ…ピヤン[illegible]一斉射撃ヲ受ケ胸部ヲ貫通銃創ヲ受ケ戰死ス	

右證明ス

本籍地 所屬部隊 比島派遣威第一二〇二四部隊 [redacted] 隊

[illegible] 陸軍 [illegible] [redacted]

現認證明書

[redacted]

所属部隊 勤兵団配属 [redacted] 大隊九中隊 階級 [redacted]

一死亡年月日時 昭和二十年四月三十日 時 分

一死亡場所 比島北部ルソン島ビナパガン

一死亡区分 戦病死

一傷病名 マラリヤ

一死亡時 況昭19.7.23 庭(呂山)八月十六日ボルネオ派遣要員トシテ門司出帆

(青島丸)九月二十日ラボック上陸行軍ニ依リ十月二十日マニラ到着十二月上旬

独立機関銃中隊(七八九中隊)編成八十人ヲ站ニ配属昭和二十年三月五日新ダニ

[redacted]大隊(九十一中隊)ヲ編成シ勤兵団ニ配属警備ニ従事中マラリアニ罹リ

四月三十日死亡ス

右現認ス

昭和二十二年二月四日

現認者 現任所 [redacted]

元所属部隊 [redacted] 大隊九中隊

階級兵長 氏名 [redacted]

10-10

841

死亡證明書

部隊	國府名 野砲一之
	通稱號 旭一一六三
死亡直前の官等氏名	予 山砲 上等兵
	役 兵
本籍地	[redacted]
留守擔當者	現住所 本籍二同シ
	續柄氏名 文
死亡年月日時	昭和二十年四月
死亡場所	又ーン 貨物廠
死亡區分	戦死
此過誤由	「バーン」貨物廠警備中敵艦砲射撃ヲ受ケ戦死
其他の詳細に特に[illegible]一年月日を記入のこと	
土骨遺留品の状況	

本證明致します

昭和二十年十月廿日

證明者 本籍地 現住所 [redacted]

所屬部隊 比多流送 旭第一三一六三部隊

官等 陸軍大尉

死亡者生前に對する

関係職名

氏名 [redacted]

戰時死亡現認證明書

區分	記事
本籍地	[redacted]
所屬部隊(固有名)	比島派遣[redacted]時機關銃第十中隊
役種徵集年	現役 十八年徵集
官等級氏名	死亡前ノ官等級 陸軍兵科員將士官 死亡後ノ官等級 陸軍少尉 [redacted]
留守擔當者住所 續柄氏名	[redacted] 母 [redacted]
死亡 年月日及區分	昭和二十年四月三十日 時 分戰(傷病)死、公務死、死
死亡 場所	ルソン島イボ野戰病院
死亡 傷(病)名	爆風ニヨル胸部強打
內地港灣出發 戰地到着年月日	昭和十九年八月十六日門司發 同年十月十二日マニラ上陸
勤務ノ概要	小隊長
受傷(罹病) 年月日時	昭和二十年三月十六日
受傷(罹病) 場所	ルソン島プライデル
受傷(罹病) 傷(病)名	爆風ニヨル胸部強打
現認者所屬	昭和二十年十一月十日 上陸復員者
官氏名印	比島派遣[redacted]歩兵第三五八大隊 部隊 [redacted] 陸軍少尉

12510

現認（死亡）證明書

印	課長	科長	主任	推薦	定	係	稽

死亡者

所属部隊	国有名	臨時歩兵第八大隊	通稱號	[redacted]	大隊
徴集年	役種	兵種	歩	官等級（死亡前）	一
			官等級（死亡後）	上	最後進級年月日

本籍地	[redacted]
現住所	右ニ同ジ
	留守担当者續柄氏名 妻 [redacted]
氏名	[redacted]
死亡年月日時	昭和二十年四月下旬日午前後時分
死亡区分	戰死
	傷疾名 下腹部盲貫
	發病受傷年月日
	死亡場所 比島ルヂルル州モンタルバン・ワワ
遺骨遺留品の有無	無
	未帰還居 有
死亡時の状況及所見	

現認者

右現認ス。

昭和二十二年　月　日

元所属部隊官等級

現住所

氏名　印

[redacted]

臨時歩兵第八大隊　陸軍少尉

844

12511

現認（死亡）證明書

檢印	科長	住	公	仁	現認者
死亡者					

所屬部隊	本籍地	現住所	氏名	死亡年月日時	死亡区分	遺留品の有無	死亡時の狀況及所見
國府名	[redacted]	右ニ同ジ	[redacted]	昭和二十年四月下旬日午前後時分	戰死	無シ	
臨時歩兵第八大隊		留守担当者 續柄氏名			傷病名		
通稱號		文			下腹部盲貫		
[redacted] 大隊					死亡場所	本籍還屆	
					比島ルソン島	有	

所屬部隊	兵種	官等級	官等級	最後ノ進級
臨時歩兵第八大隊	歩	一	上	

右現認ス

昭和二十二年八月三十日

元所屬部隊官等級 臨時歩兵第八大隊 [redacted]

現住所 氏名 印

[redacted]

比與部確認 [illegible]

845

12512

現認（死亡）證明書

所属部隊	兵種	本籍地	現住所	氏名	死亡年月日時	死亡区分	遺骨遺留品の有無	死亡時の状況及所見
臨時歩兵第八大隊	歩	[redacted]	右ニ同ジ	[redacted]	昭和二十年四月下旬日午前時分	戰死	無シ	四月下旬糧秣集收の為地区司令部より帰途に於て米軍航空機に發見され爆撃を受け其の上、機銃掃射に依り遮蔽すべき何もも無く遂に頭部及腕部に致命傷を受け茲に戰死す
通稱號	一	[redacted]	留守担当者 續柄氏名	[redacted]	死亡場所	發病受傷年月日	未帰還居	有
[redacted] 大隊	上	[redacted]	[redacted]		比島ルザール州 マンタルバンヽワワ	昭二十、四下旬		

現認者	
右現認ス。	昭和二十二年八月三十日
元所属部隊官等級	臨時歩兵第八大隊 陸軍少尉
現住所	[redacted]
氏名	[redacted]

票檢點	班認總部	島部
昭	無	受名

本籍地 [redacted]

現住所 右 同

所属部隊 第四航空軍独立第七機関砲隊

官氏名 陸軍 陸軍（ト兵（死亡前）） [redacted]

死亡場所 ボソ／＼神力山（マニラ東北八十四キロ）

死亡區分 病死

死亡日時 昭和二十年四月二十日十三時

死亡傷（病）名 マラリヤ（発病七日十日）

留守擔當者住所 現住所ニ同

續柄氏名 [redacted] 父 [redacted]

右證明する

昭和二十八年 月 日

現認者住所 [redacted]

元所属官氏名 第四航空軍独立第七機関砲隊

陸軍曹長 [redacted]

847